

8-6-4 国立大学統一入学試験と推薦入学制度

インドネシアには教員養成大学（IKIP）を含めて40余の国立大学が全土にわたって設置されている。これらの大学への入学試験は日本における統一テストと同じような性格を持つ国立大学入学試験UMPTN（Ujian Masuk Perguruan Tinggi Negeri）と各大学を行う推薦入学試験の二つの方法によって行われているが、各大学独自の筆記入学試験等は行われていないことは日本の制度と異なるところである。

（1）国立大学入学試験（UMPTN）「統一テスト」について

全国を三つの大学区（ブロック）に分けて、受験生はいずれかのブロックの中の大学で試験が受けられるように便宜が図られ、さらに他の二つのブロックからそれぞれ一つの大学を併願することができることになっている。試験問題は全国共通で行われ、教科としては基礎学力、自然科学および社会科学系教科の三教科群からなっている。採点はコンピュータによって行われ、受験生の得点については、総計得点のみで、それぞれの教科ごとの得点は受験生はもとより、各大学にも通知も公表もされない。

受験生は自分の志望する大学の学部および学科を受験時の時点で指定する大学と指定しない大学とがある。例えばボゴール農科大学のように学部・学科は指定しないで受験し、入学後に所属を決定する大学もある。

以上のようにインドネシアの国立大学入学試験制度は日本におけるような煩雑な試験制度と比較すれば、シンプルである。

各大学における入学選抜は各大学の学部長レベルで行われるようであるが、日本では予め各大学、学部ごとに定められた基準に沿って作られた選抜案（全国統一テスト結果と各大学、学部の入学試験の結果を基にして作られている）により教授会の議決をへて入学が決定されることと異なっている。

三教科群のそれぞれの得点を無視して総得点のみで選抜することは、選抜作業としてはより簡単であるが、各大学が本来入学学生に対して要求すべき教科によるウェイトを全く無視して各大学が欲する学生を選抜できるかという点でいささか疑問を挟まざるをえない。さらに各大学、学部が求める特有の教科の得点を無視し、本来必要とする学生の特定教科に対するプライオリティも考慮し得ないこともすこし気になるところである。

統一テスト総得点の高い受験生は自らの希望する大学に入学しやすいことは当然であるが、一方希望が適えられずに第2、第3の志望大学に廻され、或いは不合格になった受験生は自分の得点の配分も、希望が適えられなかった理由も、推定すら困難である。こ

の点についての配慮は今後必要ではなからうか。

要するに三教科群のそれぞれの教科得点と総得点の間には相関があり、総得点を以て統一テストの代表得点値として、各大学入学選抜の根拠を与えているものと考えられる。

(2) 推薦入学制度 (USMI) について

国立大学選抜入学試験制度は各大学とも統一テスト結果を大幅に取り入れているが、さらに各大学は入学定員の何割かを推薦制度によって入学者を決定している。日本では推薦入学制度は特定の大学、学部においてのみ実施されていて、すべての大学で行われているという性質のものでない点でおおいに異なる。国立大学のうちボゴール農科大学が大幅に推薦制度を入学選抜に用いている他はいずれの大学も入学定員の20%乃至30%程度を推薦制入学としている大学が多い。

この推薦入学制度は例えばボゴール農科大学ではUSMI (Undangan Seleksi Masuk IPB) と呼ばれ、本質的に日本の大学で採用されている推薦制度と意義や目的が異なるようである。ここでは一応推薦入学制度と呼ぶことにする。第一に「Undangan」という言葉自身「Invitation」という意味あいの言葉であって、日本で用いられているところの推薦「Recomendation」という意味あいは少ないと考えられる。大学側の立場で考える場合、推薦は出身高等学校からの内申書を提出して、各大学の判断を仰ぐという意味あいを持つのに比べて、招待とは大学の門を広く開いて高校生を迎えるという意味あいを持っている点で、入学選抜の根本的考えかたが相違していると考えの方が妥当であろう。

こう考えてくるとインドネシアと日本の推薦制度を比較しても仕方ないことになるが、一応の解説と比較をしてみたい。

日本の各大学では推薦制度についてはいろいろな試みをもって次第に多く活用しようとする機運にはあるが、やはり国立大学においてやや懐疑的である。例外を除いては推薦制度を大幅に活用しようとする国立大学は少ないと思われる。特定の大学で大学教官の良き後継者を育てるために、積極的に推薦入学制度を活用した例もあるが、これは一部の大学の特殊事情によるものとされた。国立大学であるが故に被推薦高校を指定することも、地域別推薦高校を指定することも、それぞれ目的に応じた特殊実業高校を指定することも許されない。さらに現実問題として高校の内申書の判定に伴ういろいろな問題（高校の地域間格差、高校間格差、内申書の信憑性、大学高校間の信頼性、推薦入学学生と選抜入試学生との入学後の学力、資質や適応性など相対的、絶対的比較の不確かさなど）から考えられる不安に対処出来ずにいるのが現実の姿であろう。これに対してインドネシアではすべての国立大学で推薦入学制度が程度の差はあっても採用されていることは国立大学成立の意義からして当然であると考えられているようである。

以下に主としてボゴール農科大学での推薦入学を紹介する。

ボゴール農科大学では入学定員1,600名の75~80%が推薦制度による入学生である。推薦割合に幅があるのは、全国国立大学統一テストでの選抜に先だって推薦制入学を決定するために高校卒業にあたっての全国高校卒業統一テスト結果と高校独自の卒業判定試験等の結果および推薦入学生の入学後の学力と高校内申書との相関性などからその年度の推薦割合が決定されるからである。

全国の高校の成績の順位1~3番目までの生徒について、各高校から内申書の提出を求める。内申書の内容は数学、物理、化学、生物の各教科の点数と総計点及び全国统一高校卒業試験の得点である。人物評価、生徒会活動や社会奉仕などの評価は入っていない。推薦入学申請書には志望学科の記入を要求する大学と要求しない大学とがあり一定ではないが、ボゴール農科大学では学科の記入はしないで、入学後一年終了時点でその成績によって志望学科に進学できるか否かが決定される。また、ボゴール農科大学では入学後の転学部・転学科の制度は原則としてとられていない。

推薦制により全国から優秀な学生を集めやすいこと、遠隔地からの学生を入学させることによりローカルカラーを大学に取り入れることができること、統一テストを多用するより優れた学生が入学する可能性が高いこと、教育の平等性を図るためなど国立大学としての教育的配慮と入学生の資質の向上を図るなどの理由から推薦制が評価されたといわれる。

推薦入学生を多く入学させる現在の入学制度を採用したのはごく近年にすぎないが、全体的には以前と大きい変化は認められないといわれているが、統一テストおよび推薦制で入学した学生との間に差異はあるかという問題は大変重要である。厳密な調査による考察ではないが、推薦入学生の学力のバラツキは統一テスト入学生よりも多いようであるという意見があり、現に推薦入学生に対して約二ヶ月間の補習授業を実施している。学内留年制度があり、この留年率も特定の学科で推薦制入学生にやや多いといわれている。

(3) 終わりに

以上のようにインドネシアにおける国立大学入学試験制度について概略した。国立大学は多くの私立大学とともに、教育・文化省の監督下にあるが、宗教省、労働省の管轄下にある高等教育機関もあり、インドネシアにおける高等教育形態は複雑であり、多様な入学試験制度とともに多様な学生が入学していることは、多民族が国家を構成するここインドネシアの大きい特色であろう。将来この高等教育機関の多様性がいかに国家の発展に寄与するか大きい興味がある問題である。

8-6-5 ポリテクニク入試制度

現在インドネシアのポリテクニクには、電気・土木・機械を中心とする工学系と、秘書・会計等を中心とする商学系、並びに農業・林業・水産業を中心の農業系ポリテクニクの三種類がある。

農業系ポリテクニクはボゴール農科大学の指導下に置かれており、他の工学系や商学系とは若干異なるので以下の項目には含まれない。

この事例では、特に注意書きがない場合以外は、「スラバヤ電子工学ポリテクニク」について述べる。

(1) 受験資格

ポリテクニクは、インドネシアの教育制度の中に於いて高等教育機関に含まれるため、受験の条件としては下記のように定められている。

- a. インドネシアの国籍を有する者。
- b. 無犯罪証明を持つ者。
- c-1. 工学系：普通高等学校（SMTA）、イスラム高等学校A1及びA2コース又は職業高等学校（SMKTA）の同種コースを卒業した者。
- c-2. 商業系：普通高等学校（SMTA）、イスラム高等学校A1、A2、A3、及びA4コース、又は職業高等学校（SMKTA）の同種コースを卒業した者。
- d. 年齢制限：受験月の1日付けで満年齢24才までの者。

ポリテクニク受験生に対する上記以外の制限（大学のような地区割りなど）は無く、希望する学校に於いて入学試験受験手続きをする事で、平等に受験の機会が与えられている。

(2) 入学試験公募

新入生の公募は、高等教育総局が新聞に依って公示する方法と、各ポリテクニクがそれぞれの地方有力新聞に掲載したり、パンフレットを作成し高校卒業生に配ったりする事で行われる。（別添資料参照）

受験希望者は公募の規定に従い、必要書類と受験料（別項目参照）を提出するだけで良い。

(3) 入学試験問題

1) 入学試験管理

入学試験自身は高等教育総局が取り仕切っており、試験問題はバンドンにあるPEDC（ポリテクニク教育開発センター）が主にITB（バンドン工科大学）の教授陣による入試問題準備委員会に於いて全国共通の試験問題が作成され、各ポリテクニクへ配布される。

2) 試験科目

例えば工学系の場合、「数学」と「物理」及び「化学」の三教科で行われており、それぞれの問題に150分ずつ与えられている。

3) 特別の例

例外的に「スラバヤ電子工学ポリテクニク」の1993年度入学試験では「数学」と「物理」は他のポリテクニクと同じで、「化学」の代わりに英語を採用した。これは、過去のJICA専門家からの提言により、テストケースとして認められたものであり、今後も当該ポリテクニクでは「数学・物理・英語」の三教科で続ける予定である。

(4) 受験申し込みに必要な書類と受験料

1) 必要書類：

- a. 顔写真6枚
- b. 受験料
- c. 入試申込書への記入
- d. 補足資料として： 卒業証明書写しの添付
身分証明書の提示

2) 受験料：

1990年度の入試要項では；

- 第1希望のみの場合は 1万5千ルピアと
- 第2希望までである場合は 2万5千ルピアであった。

1991年度には；

- 第1希望のみの場合は 2万ルピアと
- 第2希望までである場合は 2万5千ルピアであった。

1992年度には；

- 第1希望のみの場合も第2希望までである場合も同じで、
2万ルピアであった。

1993年度には；

- 各ポリテクニク独自の裁量が認められて、2万ルピアから4万ルピアと若干のバラつきがあった。

(5) 合格レベル

試験問題の得点はそれぞれ100点満点となっているが、その後、科目による係数を掛け、合計満点を100点に置き換えて、最終的に高等教育総局に提出される。

過去E E P I Sの長期専門家が調査したところ、入学生平均でも40点以下、受験生の全体平均でも30点代という結果であり、試験問題の難易度に問題がある事や、理にかなわない成績結果（高等学校時数学が極端に低いにもかかわらず、数学のみ満点に近い等）によって入学している学生がいる事などから下記のような提案を行った経緯がある。

- a. 易しい問題と難しい問題のギャップがあまりにも在り、易しい問題はほとんどの学生が解け又難しい問題は9割以上の学生が解けておらず、その結果正しい選別が行われていない。
- b. 化学の問題も当ポリテクにおいてあまり影響がないと思われるので他の教科例えば英語等に置き換えた方がより質の高い学生が選べる。
- c. 高校時代の内申書を提出させるのが入学生のみであり、何の参考にもされていないので、受験生全員に提出させ、入学試験の他の参考資料にすべきである。

その結果、1993年度の入試から、当ポリテクのみ入試科目が数学、物理及び英語で行われた。今後、この科目で選ばれた学生とそれ以前の学生との追跡調査が必要であり、それによってはより高い高等教育総局への提言とすべきであろう。

8-6-6 中等教育段階の修了試験と入学者選抜

学校制度は前記のように6-3-3制であるが、各段階の最後にEBTANAS (Evaluasi Belajar Tahap Akhir Nasional) 試験が設けられ、この成績NEM (Nilai EBTANAS Murni) が次の段階への進学資料として用いられる。国立の中学校・高校では別個に入学試験は実施しておらず、EBTANASの成績(NEM)に基づいて、入学者の選抜が行われる。

また、1994年に義務教育9年制が宣言され、小学校から中学校へは自動的に進学できることになる。これに伴って、小学校のEBTANASは打ち切られる予定であるが、当面の間、中学校定員(施設・設備)の関係で小学校卒業生全員を中学校に受け入れることはできないため、何らかの選抜が行われると思われる。

このEBTANASとは別に、各学校で学年最終試験としてEBTA (Evaluasi Belajar Tahap Akhir) が行われる。EBTAはカリキュラムの全教科に対して行われるが、EBTANASの方は各段階で試験科目が決められている。

EBTANAS試験科目

1 小学校 (SD)	<ul style="list-style-type: none"> a バンチャシラ道徳教育 b インドネシア語 c 数学 d 理科 (IPA) e 社会 (IPS)
2 中学校 (SMP)	<ul style="list-style-type: none"> a バンチャシラ道徳教育 b インドネシア語 c 英語 d 数学 e 理科 (IPA) f 社会 (IPS)
3 高校 (SMA) 物理 (A1) 生物 (A2)	<ul style="list-style-type: none"> a バンチャシラ道徳教育 b インドネシア語・文学 c 英語 d 数学 e 物理 f 生物 g 化学

<p>4 高校 (SMA) 社会 (A3)</p>	<p>a バンチャシラ道徳教育 b インドネシア語・文学 c 英語 d 数学 e 経済 f 行政・政治 (Tata Negara) g 社会学・人類学</p>
<p>5 高校 (SMA) 文化 (A4)</p>	<p>a バンチャシラ道徳教育 b インドネシア語・文学 c 英語 d 文化史 e 文学 f 社会学・人類学 g その他の外国語または地方語 1 ドイツ語 2 フランス語 3 日本語 4 アラビア語 5 ジャワ語 6 スンダ語 7 バリ語</p>
<p>6 職業中学校</p>	<p>a バンチャシラ道徳教育 b インドネシア語・文学 c 数学</p>
<p>7 職業高校 (SMK)</p>	<p>a バンチャシラ道徳教育 b インドネシア語・文学 c 家政高校 (SMKK) 家庭技術高校 (SMTK) 商業高校 (SMEA) 社会活動高校 (SMIP) の観光科を対象とする英語 d 商業高校会計コースの支出会計 e 商業高校会計コースのための財務会計</p>

試験実施日 1994年度のEBTANAS実施は次の通りである

高校／イスラム高校	1994年 5月 3日～ 6日
中学校／イスラム高校	1994年 5月 9日～11日
小学校／イスラム小学校	1994年 5月16日～18日

8-7 大学教育における学位取得のシステムと実態

インドネシアに於ける高等教育の学位については、学士・修士及び博士の学位であることは他の国と同様である。学士、修士及び博士の学位がある一方、インドネシアの高等教育ではディプロマ課程の教育があるが、この課程修了者に対しては「課程修了証書」が授与されるが学位の範疇（認定）に入っていない。

学士、修士および博士の学位取得のシステムは、基本的には他の諸国と同様なシステムにより学位の認定が行われている。即ち、規定された課程教科単位（クレジット＝SKS）を取得するとともに、論文審査を経て学位が認定されるシステムである。学位取得に至る過程の中で最も重要な課題・専門（専攻分野）の研究と論文作成およびその審査・認定過程をわが国のシステムに比較すれば若干の差異が見られる。差異の中で顕著な例は次段で述べる理工学系学士課程における学位取得に必要な専門・専攻分野の研究とその論文であろう。

8-7-1 学士課程

学士課程は、約4ヶ年の9学期（セメスター）から成る課程である。学年前半で必須科目を履修し、後半で専攻分野（テーマ）を選択し専門研究に入っていくパターンであるが、専攻に入っていく時期はわが国の学士課程に比較し一概に遅いといえる。理工系の場合、課程3年目に専攻を決め研究に入っていく学生もたまに見かけるが、殆どの学生は4年目の後半に論文作成のための研究に入っていくのが実態である。

（1）学士論文（Skripsi）と卒論研究

学士論文は、スクリプシー（Skripsi）と呼ばれる。所謂 Tesis、Disertasi（論文）とは呼ばれていない。インドネシア国での論文とは修士課程と博士課程での論文を指す。従って、学士課程論文の場合、論文とはいわずに「卒論」と表現したほうがより適確であろう。卒論を仕上げ、その審査に至るまでの過程の中で我国のシステムとの比較で特徴的な事項を取り纏めれば以下の通りである。

1) 専攻を選択する時期が一般的に4年目となっており、専門分野の勉学・研究の期間が短期間であること。

2) 卒論課題（テーマ）研究を実施する段階で社会貢献が必須事項となっていること。この社会貢献活動は前項でのべた通り非常に重要な社会に対する奉仕活動であると位置づけられていると同時に、卒論研究材料や研究実施場所・機会を学外に求めインターン的な性格を併せ持つといえる。

3) 卒論課題研究の実施方法の大半が「指導教官パターン」であること。

卒論研究の個々の学生に対し、複数の指導教官が決められる。指導教官は、1～2名であり、その主任教官は「アドバイザー」と呼ばれ研究指導と卒論の審査までを担当する。我国の場合、3年目から専攻する研究室に所属する所謂「研究室パターン」により教授を中心に卒論の指導が行われることと比較すれば、かなり属人的な要素が強い卒論教育方法であるといえる。

4) 理工学系での卒論研究は実験を基礎とした研究が極めて少ないこと。

バンドン工科大学のようなトップ・クラスの大学を除けば、卒論研究の大半が実験を基礎とした研究ではなく、文献等を研究の材料とし卒論の課題を取り纏めていく「机上の研究」が実態となっている。

(2) 卒論とその審査

卒論を取り纏めていく過程は、セミナー形式により順次進められていく。セミナーは3～4段階から構成され、指導教官の指導の下で研究テーマが設定され具体的な準備が開始される。卒論の最終審査は主任教官出席の下で行われ、指導教官により指摘された事項の修正、最終内容等の審査を受ける。満足な評価が与えられれば卒論として認定受理され、評価点に達せなければ修正箇所のコメントが付され差し戻しとなる。再度の審査時期は主任教官の都合により適宜設定され、合格の評価が得られるまで卒論の審査が繰り返されるシステムとなっている。4回のセミナーを例にとりステージ毎の内容を以下に記す。

1) セミナー : 当該学生は研究計画書(プロポーザル)を作成し、同じ専攻学科の学生も入れた形のセミナーでその研究計画書の発表を行い、討議が加えられる。指摘に基づく修正を行い研究計画書の作成を了する。

2) セミナー : 卒論研究の進捗を報告するステージであり、研究内容とその進捗、研究材料の収集度合、達成度等研究の中間成果を発表する。このセミナーも他の学生を含めた形で開催されるのが一般的である。

3) セミナー : この段階はセミナーと同様の中間報告段階のセミナーであり、指導教官の判断により必要に応じ開催される。

4) セミナー : 一通りの研究を了し、その結果を取り纏め提出された卒論を審査する評価セミナーである。通常は当該学生と主任・指導教官チームとの間で個別に行われる。この審査に合格した卒論は学士論文(卒論)として認定受理される。合格するまで審査が繰り返されることは勿論である。このため審査に1～2年かかるケースも散見される。

(3) 学士の認定と登録

卒業に必要な科目を履修し、卒論の合格認定が行われれば、当該学生は卒論の製本を行った上で申請書を添付し大学学生管理部門へ提出する。申請書に基づき正式な学士としての登録が行われて初めて当該学生は大学学士課程を卒業したと認定される。

なお、課程修了年月日は、学士としての登録年月日を採用している。従って、インドネシアお大学では毎日学士が誕生しているという過言ではなく、我国の東京大学工学部において11月を除く毎月行われている論文審査システムと類似している。また、卒業式は年2回举行されるのが一般的であるが、大学によっては年4回も卒業式を行う大学もある。この理由は、卒論の認定が1年を通じて行われているインドネシアの論文・卒論の審査システム方式の事情に起因するものである。

8-7-2 修士課程

修士課程は、約2ヶ年の4学期（セメスター）から成る課程である。学年前半で必須科目を履修し、後半で専攻分野（テーマ）を選択し、専門研究に入っていくことは学士課程と同じである。以下にその概要を示す。

1) 大学院或いは学部によっては修士課程の前段に準備課程(Pre-S2)を設置し、修士課程勉学のレベルに達していない学生を受け入れる制度を有していること。
この準備課程(Pre-S2)は、多くの現職教官が上位の学位を取得することを促進する上で、有効な受け入れ手段となっている。彼らは我国でいう院生の前の研究生に相当するといえる。この準備課程の勉学1年間である。

2) 修士課程は、2ヶ年の4学期（セメスター）が基本になっているが、ポゴール農科大学のように2ヶ年2学期の制度もあり、学期数は統一されていないこと。
このセメスターの他に「中間セメスター」(Intersemester Session)を設け、規定年数内の学位取得を促進している大学院もある。この中間セメスターは通常7～8月の学期間に実施される。

3) 卒論課題研究の実施方法の大半が、やはり学士課程と同様、「指導教官パターン」であること。
卒論研究の個々の学生に対し複数の指導教官が決められるのも学士課程と同様である。指導教官数は、3～4名と学士課程よりも多い。

8-8 進級とドロップ・アウト

8-8-1 初等・中等教育段階

(1) 小学校段階

1984/85年度の小学校1年生を例に、毎年の進級がどの位なのか、そして6年間で修了するのは入学者のどの位なのかを統計から見てみたい。但し、各学年集団の中には進級した者の他に留年者も含まれ、正確な数字ではないが進級およびドロップアウトのおおよその状況はつかめるであろう。

		生徒数	進級率(%)
1984/85年	1年生	5,382,689	
1985/86年	2年生	4,938,600	91.75
1986/87年	3年生	4,674,964	94.66
1987/88年	4年生	4,334,756	92.72
1988/89年	5年生	4,009,536	92.50
1989/90年	6年生	3,546,288	88.45
1990/91年	卒業	3,336,590	94.09

1984/85年の小学校1年生5,382,689人は、順調に進学すれば1990/91年度に卒業する予定であったが、卒業時には生徒数が3,336,590人に減少している。

留年で上の学年から下りてきた生徒、また留年で下の学年に下がった生徒がおり、正確な数値ではないが、同期入学の約61.98%が卒業まで就学した(6年間で卒業できた)とみることができる。また、この1984/85年入学の生徒集団に限らず、5年→6年の進学率が90%に達していない。

(2) 中学校段階

1987/88年度入学の中学校1年生のその後を見てみたい。

		生徒数	進級率(%)
1987/88年	1年生	2,269,508	
1988/89年	2年生	2,169,412	95.59
1989/90年	3年生	1,876,725	86.51
1990/91年	卒業	1,701,875	90.68

1987/88年入学の新中学校1年生 2,269,508人は、順調に進学すれば1990/91年度に卒業するはずであるが、この生徒の数は3年後の卒業時には1,701,875人に減少している。

先の小学校段階同様、進級者と上からの留年者を区別していないので正確ではないが、おおよその割合で74.98%の生徒がドロップアウトせずに3年後の卒業まで勉学を続けたと考えられる。

(3) 高校段階

同様に1987/88年度の高校1年生（職業高校を含む）の例を見てみたい。

		生徒数	進級率 (%)
1987/88年	1年生	1,447,121	
1988/89年	2年生	1,325,359	91.59
1989/90年	3年生	1,246,881	94.08
1990/91年	卒業	1,131,067	90.71

1987/88年度の高校1年生 1,447,121人は、順調に進学すれば1990/912年度に卒業することになるが、3年後の卒業時には生徒数が1,131,067人に減少している。

先の例と同様に、おおよその割合で、78.15%がドロップアウトせずに卒業まで勉学を継続したと見れる。

(4) 中学校段階のより細かなプロフィール、

各学年でのドロップアウト、留年者および上の学年からの留年者をふくめたプロフィールは次頁の表のようになる。各学年での留年者は1%程度、ドロップアウトは4%から13%とかなり変動が見られる。しかし、インドネシアの統計数字の信頼度に若干の留保が必要である。

		生徒数	(%)
1987/88 年	新規入学生	2,238,032	
	留年者	31,476	1.30
	計	2,269,508	
	ドロップアウト	97,267	4.29
	1年で留年	29,538	1.30
	2年への進学者	2,142,703	94.41
1988/90 年	2年の留年者	26,709	1.25
	2年生全生徒数	2,169,412	
	ドロップアウト	285,193	13.15
	2年で留年	24,237	1.12
1989/90 年	3年への進学者	1,859,982	85.74
	3年の留年者	16,743	0.81
	3年生全生徒数	1,876,725	
1990/91 年	ドロップアウト	157,806	8.41
	3年で留年	17,044	0.91
	卒業	1,701,875	90.68

(いずれもRangkuman Statistik Persekolahan 1990/91より作成)

8-8-2 ポリテクニクに於けるドロップアウト

ポリテクニクの基本的教育原則は、限られた期限における教育と実験実習を中心とした現場志向型の卒業生を排出する事にある。これは即ち各学期毎にその都度全ての科目について修了し5段階評価の内3以上の評価を得なければ即退学となる。従ってD2に於いては2年間で、D3では3年間で卒業しなければならず、大学の様な留年は認められない。従って、通常第1学期及び第2学期までに大半のドロップアウトが出るのが普通で、それ以降、特に第5学期又は第6学期でドロップアウトする学生は希である。

全国的にドロップアウトの理由で一番多いのが学力不足であり、このことは高等学校における教育と入学試験内容との関連による入学時点の選考に問題があるのか、カリキュラム・シラバス等の学校側での問題もあると思われる。都市部のポリテクニクで次に多いのが大学への転入である。これは、国立大学に入学できる資格試験が2回まで認められている事と、合否の結果がポリテクニクの入学試験前に発表される事により、その試験に落ちた学生が翌年ポリテクニクで在学中再度資格試験に挑戦し、それに通った場合99%大学へ転入してしまうからである。これは、今だポリテクニク教育が世の中に知られていない事と、学歴重視社会の影響である。

ドロップアウトの理由次に多いのが学業との不適合があげられる。その中には理工科系に向かなかつた場合（特に数学が弱かつたもの）と能力的に学力がついて行けなかつた場合とがある。これらについては今後入試制度や広報活動による適者選択の手法を確立する必要がある。

以下に主な全国のポリテクニクの過去5年間のドロップアウトの実態を記す。

学校名	5年間入/卒数	D/O比率	理由
JAKARTA	2775/1061	17.32%	1)学力不足 2)S1移籍 3)不適合 4)病気他
ITB-BDG	2608/1523	18.68%	1)学力不足 2)S1移籍 3)不適合 4)病気他
PMS-BDG	* 480/ 423	6.26%	1)学力不足 2)S1移籍 3)不適合 4)病気他
SBY-KAPAL	* 594/ 457	18.39%	1)学力不足 2)S1移籍 3)不適合 4)病気他
SBY-ELEKTRO	** 413/ 357	13.56%	1)学力不足 2)S1移籍 3)不適合 4)病気他
MALANG	2682/1935	37.54%	1)学力不足 2)不適合 3)病気他
SEMARANG	720/ 474	26.70%	1)学力不足 2)不適合 3)病気他
PONTIANAK	625/ 395	10.02%	1)学力不足 2)不適合 3)病気他
BANJARMASI	714/ 517	26.88%	1)学力不足 2)不適合 3)病気他
MANADO	1869/ 865	31.43%	1)学力不足 2)不適合 3)病気他
AMBON	** 565/ 330	14.06%	1)学力不足 2)不適合 3)病気他

注) *過去4年間の実績 **過去3年間の実績

8-9 奨学金制度

8-9-1 大学レベル

インドネシアでは「奨学金」とは返済義務を課さないものであるというのが一般通念であり、日本のように返済を前提とするものはあまり見受けられない。大学生、及び大学教官を対象とする国内奨学金制度について主なものの概略を以下に示す。

(1) 政府による奨学金制度

1) TMPD (Tim Managemen Program Doktor)

1976年より創設された奨学金制度で、イ国政府予算及び世銀の融資を用い、教育文化省高等教育総局が管理を行っている。概要は以下の通り。修士(S2)・博士(S3)課程以外に基礎科学分野のD3その他もあるが、ここではS2・S3を中心に述べる。

<修士(S2)・博士(S3)課程>

実施・管理機関：教育文化省 高等教育総局

資 金 ∵ インドネシア政府及び世銀融資による。
 資金の比率は約55%：45%となっている。
 (高等教育総局担当官よりの聴き取り。94年1月。)

対 象 者 ∵ インドネシア国内の大学教官(国立・私立)

分 野 ∵ 特に限定無し。但し実態上は基礎科学、農学、工学分野が多い。

人 数 ∵ 年間約500名程度

奨学金受領期間：修士課程(S2) 30ヶ月(2年半)まで。

 博士課程(S3) 42ヶ月(3年半)まで。

奨 学 金 額：一人あたり月額(93年度)

 修士課程(S2) 50万ルピア

 博士課程(S3) 55万ルピア

但し、高等教育総局の担当官よりの聴き取りによれば、94年度S2は月額55万ルピアに、S3は60万ルピアに値上げが見込まれている。

尚、現行における月額の内訳は以下(表-1)の通りとなっている。このうち、1. 及び2. については本人が受領し、3. 及び4. については直接受け入れ先大学に支払われる。

表-1. TMPD奨学金月額(93年度)

(単位:ルピア)

No.	内容	修士課程(S2)	博士課程(S3)
1.	生活費	200,000	200,000
2.	書籍代	50,000	75,000
3.	研究補助	75,000	100,000
4.	オーバーヘッド・コスト (授業料)	175,000	175,000
	合計	500,000	550,000

受入先として可能性のある大学院は下記の通りである。

(A) 国立大学大学院(10大学)

1. UI : UNIVERSITAS INDONESIA. JAKARTA
2. IPB : INSTITUT PERTANIAN BOGOR. BOGOR
3. ITB : INSTITUT TEKNOLOGI BANDUNG. BANDUNG
4. UNPAD : UNIVERSITAS PAJAJARAN. BANDUNG
5. UGM : UNIVERSITAS GAJAH MADA. YOGYAKARTA
6. UNAIR : UNIVERSITAS AIRLANGGA. SURABAYA
7. UNHAS : UNIVERSITAS HASANUDIN. UJUNPANDANG
8. IKIP JAKARTA : INSTITUT KEGURUAN DAN ILMU PENDIDIKAN. JAKARTA
9. IKIP BANDUNG : INSTITUT KEGURUAN DAN ILMU PENDIDIKAN. BANDUNG
10. IKIP MALANG : INSTITUT KEGURUAN DAN ILMU PENDIDIKAN. MALANG

(B) 国立教育大学大学院(6大学)

1. IKIP JAKARTA
2. IKIP BANDUNG
3. IKIP MALANG
4. IKIP SURABAYA
5. IKIP PADANG
6. IKIP YOGYAKARTA

(C) 私立大学大学院(37大学)

1. UNIVERSITAS ISLAM SUMATERA UTARA. MEDAN
2. UNIVERSITAS TRISAKTI. JAKARTA
3. UNIVERSITAS TARUMANEGARA. JAKARTA
4. UNIVERSITAS KATOLIK ATAMAJAYA. JAKARTA

5. UNIVERSITAS PANCASILA. JAKARTA
6. UNIVERSITAS INDONUSA ESA UNGGUL. JAKARTA
7. UNIVERSITAS KRISNADWIPAYANA. JAKARTA
8. UNIVERSITAS MUHAMMADIYAH. JAKARTA
9. UNIVERSITAS SATRAGAMA. JAKARTA
10. UNIVERSITAS PERSADA INDONESIA "YAI"
11. UNIVERSITAS JAYABAYA. JAKARTA
12. S.Ti. MANAJEMEN LABORA. JAKARTA
13. STIE "IMMI". JAKARTA
14. S.Ti. MANAGEMEN PRASETYA MULYA. JAKARTA
15. STIE "IPMI". JAKARTA
16. SEKOLAH TINGGI MANAGEMEN JAKARTA
17. STIE "IMNI". JAKARTA
18. STIE "PPM". JAKARTA
19. STIE "IGI". JAKARTA
20. STIE "GUNUNG SEWU". JAKARTA
21. STIE GUNADARMA. JAKARTA
22. STMIK GUNADARMA. JAKARTA
23. STMIK BINA NUSANTARA. JAKARTA
24. STIE TRI DHARMA WIDYA. JAKARTA
25. STIE "IPWI". JAKARTA
26. S.Ti. ILMU HUKUM "LPIHM-IBLM". JAKARTA
27. STIE GRAHA GANESHA. JAKARTA
28. STIE "IBiI". JAKARTA
29. STIE "IBEK". JAKARTA
30. UNIV. PARAHYANGAN. BANDUNG
31. S.Ti. MANAGEMEN BANDUNG
32. UNIV. ISLAM INDONESIA. YOGYA
33. UNIV. ATNAJAYA. YOGYA
34. UNIV. KRISTEN SATYA WACANA
35. UNIV. 17 AGUSTUS 1945. SBY
36. UNIV. SURABAYA. SBY
37. STIE "IEU" SURABAYA

(2) Ikatan Dinas

奨学金受領者は卒業後当該省庁の国家公務員として勤務することを義務づけられているが、その限りにおいて返済義務はない。(これに反する場合は返済が必要となる。)尚、教育文化省による同奨学金受領者は教員、大学教官、教育文化省職員等となる (H E D Sプロジェクト イ側コーディネーターよりの聴き取りによる。)

但し、同プロジェクトにおける他の職員によれば、この制度は社会人を対象とするものであり、政府に限らず、民間においても実施されているとのコメントも得ている。従って、このカテゴリーに含めるべきか否かについては疑問が残る。その内容についてさらに調査を要する。

A 半官半民団体による奨学金制度

Super-Semar等。返済不要。

B 民間企業による奨学金制度

Pertamina等を始めとする奨学金があるが、入社を前提として返済が免除されるもの、義務・拘束条件の全く無いもの等、企業により異なる。

(2) 援助国政府による奨学金制度

主要援助国による人材育成の為の奨学金があり、BAPPENASのOverseas Training Officeが調整を行っている。

主なものに、OECDのRHRDP (Professional Human Resource Development Project) や、BPPT/STAID等がある。

詳細についてはさらに調査を要する。

8-9-2 スラバヤ電子工学ポリテクニク事例

ポリテクニクに於ける奨学金はスラバヤ電子工学ポリテクニク自身が設立後間もない事から、一般に与えられている奨学金がまだ受けられない状態である。従って、以下に記する数少ない奨学金しか現時点では無い。世界銀行による他のプロジェクトでは下記以外にも多くの企業からの奨学金が多く受けていると聞き及んでいる。

(1) 政府による奨学金制度

「Ikatan Dinas DIKTI」 1994年3月現在8名

奨学金受領者は卒業後国家公務員として勤務することを義務づけられているが、その限りにおいて返済義務はない。(これに反する場合は返済が必要となる。)

(2) 民間・財団等による奨学金制度

1994年3月現在47名

現スハルト大統領が提唱して創られた「Super-Semar」が一番有名で、成績優秀な学生に対して与えられている。 1994年3月現在50名

企業からは優秀な学生に対して、TIFICO財団からの2名分と、新たにNASIONAL GOBEL財団(10名) SONY INDONESIA(10名)等からの話が出てきている。

(3) その他の奨学金制度

当ポリテクニクには、入学後、家庭の経済状態が悪くなり、学費が払えず学業を続けられない学生を対象とする奨学基金として、過去に派遣された専門家が中心となって「日本インドネシア友好育英基金(JIEFF)」が1989年から創設された。この奨学金制度では授業料免除システムとして授業料同額分を受け取る事が出来る。その後企業内実習や企業見学に伴う費用も、必要と認められれば受け取る事が出来るようになった。

1994年3月現在、基金の元金は定期預金の形で1億ルピアを越え、その利子による運営がなされている。 1993年3月現在47名

父母会(IKATAN KELUARGA ORANG TUA MAHASISWA)からも、上記の日本人専門家による授業料補助のシステムが出来てから、同様な学生を対象に、「経済的に困窮する学生に対する救済基金」が設けられた。 1993年3月現在15名

8-10-2 ポリテクニクの事例

通常、高等教育機関で行われる社会貢献には2種類あり、学内で行うものと学外で行われるものに大別される。

(1) 学内で行われる社会貢献

学内で行われるものの内、個人の教官の研究や専門に直接関係するものと、プロジェクトチームや関係役員等の形で行われるものがあり、前者に企業からの研究依頼や調査依頼があり、後者にはコンピューター研修コースやセミナー等の学術的なものから、企業からの社員に対する専門教育実施等がある。

(2) 学外で行われる社会貢献

学外で行われるものにコンサルタント業務と称して、工場の設備設計などのコンサルタントや、地域社会に対する講演や啓蒙活動、並びに同じ私立の高等教育機関に於ける試験監督等がある。

(3) スラバヤ電子工学ポリテクニクの場合

(1) のケースとして先ず筆頭に上げられるものに、インドネシア一番の航空会社であるGARUDA航空の技術系社員に対する、2年間の専門教育の請けおいがある。

このケースでは社員教育を全日制のカリキュラムを特別に組んで行っている。通常一般の学生の場合、授業料と政府からの補助金で行っているが、このGARUDA社員教育では政府からの補助金が出ないため、通常の2倍以上の授業料を受けて行っている。

次に上げられるのが海軍付属科学アカデミーの最終学年生に対する特別追加授業と卒業研究指導が上げられる。このケースの場合も若干割高な授業料を取って行っている。

このような活動の場合、通常の教授業務と大半が重複するため、教官にとっては教授経験を積むことと、社会のニーズを知る事が出来る事、又副収入の一つとしても大変良い状態であると言えよう。

(2) のケースとしては東ジャワ製糖工場協同組合の工場移転に伴う電気機械の設置や、保守管理に関するコンサルタント業務を行っている。

この場合、母胎であるスラバヤ工科大学等の教官達との集団共同作業であり、余り当ポリテクニクの専門性とも合致しておらず、その上、現場が学校のある町から離れているため、忙しい場合に学校に来なくなることがあり、余り良い事とは思えない。

従って、この社会貢献制度というものは(1) のケースの場合は校長や副校長を始め人脈を持つ教育機関は物質面でもこの社会貢献活動を通じてより活発な活動が営める仕組みであり、ひいては学校の名前を社会に知らしめる事にもなる。しかし(2) のケースや教官が個々人で副収入を探すケースになると、学校そのものが二次的存在に成りかねない危険を含んでいる制度とも言えよう。

8-11 遠隔教育のシステム

インドネシアは広大な島嶼国家であり、地方によっては交通・通信の不便な所も少なくない。そのために、遠隔教育の利用が図られてきた。遠隔教育は、教育機会の拡大、特に僻地における教育機会の拡大のためにも、また教育の質を向上させるためにも大きな可能性を持っている。

9年制義務教育と関わっては公開中学校（SMP Terbuka）の拡大が計画されており、これについては別項でふれてあるので、ここではPUSTEKKOM（教育文化コミュニケーション技術センター）とUT（公開大学）について、その組織・活動の概要を整理しておきたい。

8-11-1 PUSTEKKOM（教育文化コミュニケーション技術センター）

（1）PUSTEKKOMの組織

PUSTEKKOM（プステコム）の正式名称は Pusat Teknologi Komunikasi Pendidikan dan Kebudayaanで、直訳すれば「教育文化コミュニケーション技術センター」となる。教育文化省の機関であるが、総局の下ではなく、独立した組織として大臣の下に置かれている。

PUSTEKKOMは1978年8月31日に正式に設立された。伝統的な方法では限界があるような教育問題を新しい技術を使って解決すること、すなわちオルタナティブな解決策を探ることを目的とする。PUSTEKKOMは教育文化の分野で、コミュニケーション技術の応用促進、実施計画の作成、活動の調整等を行っている。

PUSTEKKOMの本部オフィスは南ジャカルタのチプタットに置かれており、計画課、開発課、制作課、評価課および事務部門で構成される。その他に、ジャカルタのオフィスに付属する3つの制作部門と、地方に3か所の制作室、14の実施ユニットが置かれている。ジャカルタの制作部門は 1) オーディオ・スタジオ、2) テレビ・スタジオ、3) 映画・写真・グラフィックス・スタジオの三つである。

地方の制作室はスラバヤ（東ジャワ）、スマラン、ジョグジャカルタ（いずれも中部ジャワ）に置かれている。スラバヤは、テレビ・プログラムの制作にあたり、スマランとジョグジャカルタはラジオ教育プログラムの制作にあっている。

PUSTEKKOMの実施ユニットは全国に14か所設けられている。実施ユニットは、個々の地域で教育工学分野の活動の実施と促進、革新的な教育モデル・教授方法の普及、PUSTEKKOMで制作された視聴覚教材の利用促進をはかることを目的として

いる。全国27州のうちの、西ジャワ、中部ジャワ、ジョグジャカルタ、東ジャワ、西カリマンタン、中部カリマンタン、東カリマンタン、中部スラウェシ、南スラウェシ、東南スラウェシ、西ヌサテンガラ、東ヌサテンガラ、マルク、イリアンジャヤの14州に実施ユニットが設けられている。

(2) PUSTEKKOMの事業

PESEKKOMが関係してきた事業活動には以下のようなものがある。

1) 小学校教員資質向上のためのラジオ・コース

僻地の学校教員の資質向上には巡回指導員があつたていたが、それを置き換えるものとして1977年から実施されてきた。また、1991年からは公開大学(UT)との協力のもとに、遠隔地域の小学校教員の基礎資格向上(D2:ディプロマ2年課程)のためのプログラムの制作・実施にもあたっている。

2) 公開中学校 SMP Terbuka

公開中学校は、小学校卒業生で一般の中学校に就学できない生徒を対象に、中学校教育の機会を与えることを目的に設置された。特に、僻地で中学校に通えない子供、家庭が貧困で働かなければならない子供に教育機会を提供しようとするものである。

公開中学校はパイロット・プロジェクトとして1979年に5か所で始められた。ランブンのカリアンダ、西ジャワのブルンボン、中部ジャワのアディウエルナ、東ジャワのカリサット、西ヌサテンガラのテララである。

その後、初等中等教育総局との協力のもとに、公開中学校を全国27州に拡大することが計画された。1994年より始まる9年制義務教育実施をサポートするためでもあり、全国各州に少なくとも2校の公開中学校を設置することが計画され実施された。

3) 高等教育のための教育工学利用の普及

高等教育機関の教官が教育工学を利用できるように、そしてそれを発展させられるように普及活動を行ってきた。ワークショップやセミナーの開催、教育工学の技術に関する訓練の機会等を提供した。また、教育工学に関する書籍の翻訳、教育工学のカリキュラム開発等も行われてきた。

これまでにPUSTEKKOMのサービスを利用した高等教育機関としてはa) スラバヤ工科大学(遠隔教育によるD1)、b) バンドン工科大学(遠隔教育プログラム)、c) スマラン教育大学(教育工学プログラムのD3)、d) ジャカルタとマランの教育大学(教育工学プログラムき1~3年)等がある。

4) 教育工学の研究

学校教育・学校外教育における教授メディア利用に関する研究、またPUSTEKKOMのプログラムの事前調査・研究を行ってきた。その中には公開中学校の拡大、ラジオによるディプロマ2(D2)プログラム、遠隔教育ネットワークなどに関する研究が含

まれている。

5) 教育テレビ番組の開発

幼児向け、成人向け、学校生徒向け番組の開発・制作を行っている。UNICEFの援助で1979年から1982年まで幼児向けの番組制作を行った。10代の青少年向け番組としては1984年から1989年まで三つのシリーズの番組を制作した。その中の二つは中学校・高校の生徒の生活を扱い、あとの一つは独立のための闘いを扱っている。これらのシリーズはACIの名で知られている。(ACIはAku Cinta Indonesia、すなわち私はインドネシアを愛するの頭文字を取ったもの)

学校生徒向けには1987年以降、教育テレビ番組の制作を行ってきている。1991年からは、PUSTEKKOM制作の番組がTPI(インドネシア教育テレビ)を通して放送されている。当初は中学校生徒を対象としたものだけであったが、1992年からは高校向けプログラムも開始され、さらに今後は小学校向けや、また職業教育に関する番組の制作も行われる予定である。

6) 教育パッケージ

さまざまな形態の自習用パッケージの開発が行われてきた。a) 高校用マルチメディア・パッケージ(印刷教材、カセット、スライド、ビデオ)、b) 公開中学校校長・教師用訓練パッケージ、c) 教育メディア制作の訓練パッケージ等が作られている。

8-11-2 公開大学 UT (Universitas Terbuka)

(1) 概要

45番目の国立高等教育機関として、1984年9月4日に正式に設立された。他の高等教育機関と異なり、遠隔教育システム(sistem belajar jarak jauh)を採用している点に特色がある。但し、放送大学としての機能はまだ整えられておらず、教材の郵送による通信制大学の段階にある。

公開大学は、高校段階の卒業生に対して高等教育機関での学習機会を拡大することを目的に設置された。国家開発に関連する特定分野の専門的なスタッフの養成、質の向上がプログラム提供の基本であるが、教員の資質向上、特に現職教員の基礎資格向上プログラムが大きな割合を占めている。

学生数は1993年度でディプロマ及びサルジャーナ課程を含めて約17万5000人の大きな大学である。内訳はディプロマ課程が14万1000人、サルジャーナ課程が3万4000人である。さらにディプロマ課程在籍者の中で12万7000人が小学校教員の基礎資格向上プログラムを取っている。

公開大学における学生の登録は、遠隔学習プログラム・センターUPBJJ-UT (Unit Programme Belajar Jarak Jauh Universitas Terbuka) もしくは学習リソース・センターUSB (Unit Sumber Belajar) で行われる。

学生は教育プログラムの選択において自由を持ち、選択にそくして教科を学習する。登録者に対する単位認定試験は、全科目に対して年に2回、6月と12月に行われる。また、特別にD2-PGSD (ディプロマ2年課程の小学校教員基礎資格向上) のプログラムに関しては、2月と8月に試験が行われる。教材については、公開大学本部、遠隔学習プログラム・センター (UPBJJ-UT) で用意され、郵便局を経て学生に届けられるか、あるいは公開大学指定の書店で提供される。公開大学のシステムは各学生それぞれの能力・関心・経済状況・時間 (いつでも勉強できる) に応じて柔軟な教育を提供しようという点で期待されている。

(2) プログラム

公開大学はプログラムの提供に関しては他の高等教育機関と同じである。学部編成および提供プログラムは下記の通りである。

1) 教員養成・教育学部 (FKIP)

・サルジャナ (S1) プログラム

インドネシア語教育

英語教育

数学教育

物理教育

化学教育

生物教育

これらサルジャナ (S1) プログラムは、関連する学習プログラムにおいてディプロマ3 (D3) もしくはサルジャナ・ムダ (以前の3-2制の高等教育制度で前期3年修了) の資格を取った高校の教員を対象とする。

・ディプロマ (D2) プログラム

インドネシア語教育

英語教育

数学教育

理科教育 (IPA)

社会科教育 (IPS)

バンチャシラ道徳教育

このプログラムは関連する学習プログラムにおいてディプロマ1 (D1) もしくは同じレベルの資格を取った中学校の教員を対象とする

- ・ 小学校教員 D 2 同等化プログラム (学級担任教員および保健体育教員)
(Programme Penyetaraan D-II Guru Sekolah Dasar)

このプログラムは小学校教員を対象とするものである。なお、教育文化省の奨学金を受けている者と自費の者を含む。

- ・ 宗教教育教員 D 2 同等化プログラム (プロテスタント、ヒンドゥ、仏教)

Programme Penyetaraan D-II Guru Pendidikan Agama (Protestan, Hindu, dan Budha)

このプログラムは公開大学と宗教省、サティヤワチャナ・キリスト教大学、ヒンドゥ・ダルマ専門大学、ナラワ仏教単科大学の共同プログラムで、小学校段階ののプロテスタント、ヒンドゥ教、仏教の宗教教育担当教員を対象とする。

- ・ D 3 プログラム

数学教育

理科教育

このプログラムは関連する学習分野の D 2 もしくは同レベルの資格を持つ中学校の教員を対象とする。

2) 経済学部 (F E K O N)

- ・ サルジャーナ (S 1) プログラム

経済学・開発研究

経営

- ・ ディプロマ (D 2) プログラム

工業・サービス

Penyelia Industri dan Jasa

3) 社会・政治学部 (F I S I P)

- ・ サルジャーナ (S 1) プログラム

国家行政

商業管理

開発行政

- ・ ディプロマ (D 3) プログラム

課税

- ・ 資格取得プログラム Programme Sertifikat

英語学習

コンピュータ・情報技術知識パッケージ

自立経営

Wira Usaha Mandiri

4) 数理学部

- ・ サルジャーナ (S 1) プログラム

応用統計 Statistika Terapan

数学

- ・農業高等教育ディプロマ (D3) プログラム
 農業普及指導 Penyuluhan Pertanian
- ・資格証プログラム
 統計専門分野 Bidang Keahlian Statistik

(3) 学習システム

以下にUTの案内より、プログラムの実施内容について整理しておく。

(学生の候補者)

高校もしくは同程度の学校の卒業生は修了資格の年度の制限なく、公開大学の学生になることができる。公開大学の学習システムは柔軟性に富むものであり、高校を卒業して直接進学することもできるし、また既に職を持っている者も学ぶことができる。後者としては、例えば官民の諸機関、企業、工場、国軍で働く者、また自営者などが含まれる。

(学習方法)

公開大学での学習は教官による講義・指導形式ではなく、学生が自ら教材を使つて学ぶ。即ち、自分一人で学ぶか学習集団(kelompok belajar)の中で公開大学の同じ学生と一緒に学ぶかである。よりよく知っている者に尋ね、個人指導を受け、ラジオ/テレビ放送、オーディオ・カセットを聞き、実習を行い、関係する他の学習のリソースを探すことによって学習が進められる。実習にはコンピュータ実習なども含まれ、そして必要な時にはシミュレーションが行われる。

それらは全て学生個々の自主性と責任において行われる。難しい科目に関しては、学生は学生学習センターP S M (Pusat Studi Mahasiswa) で集中的な指導を受けることができる。コンピューターの科目を取る学生に対しては、ジャカルタ、スマラン、マナド、スラカルタ、スラバヤ、デンバサールのようないくつかの町で、マイクロ・コンピュータ実習室で実習を受けることができる。

(学習教材)

公開大学の教材には他の国立大学の講義と同じようなものが含まれる。その形態は、特に個人で学ぶのためにシステムの的に考えられている。即ち、モジュール形式で編集された基本的な教科書、オーディオ・カセット、参考書、実習手引き、学習図書、ラジオ・テレビ放送、実習機器等からなる。

(学習集団)

学生は近い所に住む友人と学習集団を作るように指導される。この学習集団の中で、学生はモジュールの内容について、また学生の学習過程を円滑にするために討論を行う。その他に、当該の学習集団に対して、公開大学本部及び遠隔学習プログラム・センター (UPBJJ-UT) は、規則改正、学習計画、教科外活動等に関して、その他の情報とともに所定の通知方法によって情報を届ける。

(学生活動)

学習集団を通して、公開大学は学術論文コンテスト、学術討論、生産性向上コンテスト、スポーツ、芸能、キャンプ、旅行、社会奉仕、その他の課外活動をの機会を提供す

る。これらの活動を通して公開大学の学生間の関係が親密になるように図られる。

(個別指導)

個別指導は特に学生の学習の困難を克服するために与えられる。そのために、学生は個別指導を受ける前にあらかじめ学習教材を学んでいなければならない。個別指導は一つのグループの学生との面会の形をとる。個別指導の指導員は、他の国立高等教育機関の教官、規定の条件を満たす学士課程卒業生、そのほか関係する専門家からなる。対面する個別指導の他に、公開大学はマス・メディア、手紙による個別指導の機会も与える。個別指導を必要とする学生は、学生学習センター P S M、学習ハウス(Balai Belajar)、その他の指導場所で集中的な個別指導を受けることができる。指導の場所に関する情報は、それぞれの遠隔学習プログラム・センターで得ることができる。

(試験)

最終試験の機会には各登録年度毎に2回、即ち、第1回試験と再試験である。学生は公開大学によって決められるか、あるいは学習集団によって希望された各試験会場で試験を受けることができる。サルジャナ課程(S1)の学生はプログラム最終試験または総合試験を受けなければならない。公開大学の卒業生は他の国立高等教育機関の修了資格と同じ価値を持つと認められる。

(4) 学生登録の方法

(登録)

志願者の第1次登録用紙は郵便局の販売所(Kantor Pos Penjual Formulir)で買うことができる。志願者は登録用紙に記入し、最寄りの郵便局で、登録書類に決められた額の授業料(Biaya Pendidikan)を支払う。当該の登録用紙は付属資料とともに登録場所、即ちその地域の遠隔学習プログラム・センター事務所に直接持参する。遠隔学習プログラム・センター事務所から遠い所にすむ志願者は、最寄りの郵便局から登録書類一式を遠隔学習プログラム・センター宛に無料で送ることができる。

(学生受入れ)

条件を満たし、授業料その他登録の条件を満たした志願者は、公開大学の登録証明及び学生証を受け取る。

(5) 運営とスタッフ

(運営組織)

UTの運営は、他の国立大学/専門大学と同様に学長、副学長、教官その他で構成される。上記の運営組織はUT本部事務所に置かれる。その他に、全国32の遠隔学習プログラム・センター事務所UPBJJ-UTの運営にあたるスタッフがあり、その運営組織は各地域の高等教育機関の学長によって作られている。

(モジュールの執筆者及び試験問題作成者)

公開大学のレベルを他の国立高等教育機関と同じにするために、モジュールの執筆者及び試験問題の作成者は殆ど全て国立高等教育機関で優れた良い資格を持つ教官である。執筆に携わるのは、UI(インドネシア大学)、UGM(ガジャマダ大学)、ITB(バンドン工科大学)、UNPAD(パジャジャラン大学)、IKIP Jakarta(ジャカルタ

教育大学)、IKIP Bandung (バンドン教育大学)、UNDIP (ディボネゴロ大学)、UNBRAU (ブラウイジャヤ大学)、UNHAS (ハサヌッディン大学)、UNAIR (アイルランガ大学)、ITS (スラバヤ工科大学)、IKIP Malang (マラン教育大学)、IKIP Surabaya (スラバヤ教育大学)、UNUD (ウダヤナ大学)、UNS、UNAND (アンダラス大学)、IKIP Padang (パダン教育大学)などである。また、公開大学の学習モジュールの多くが他の高等教育機関でも使われている。

(チューター、実習指導員、野外実習指導員)

個人指導員(チューター)、実習指導員、野外実習指導員は規定の条件を満たす大学学部卒(サルジャナ)からなる。

(6) 授業料

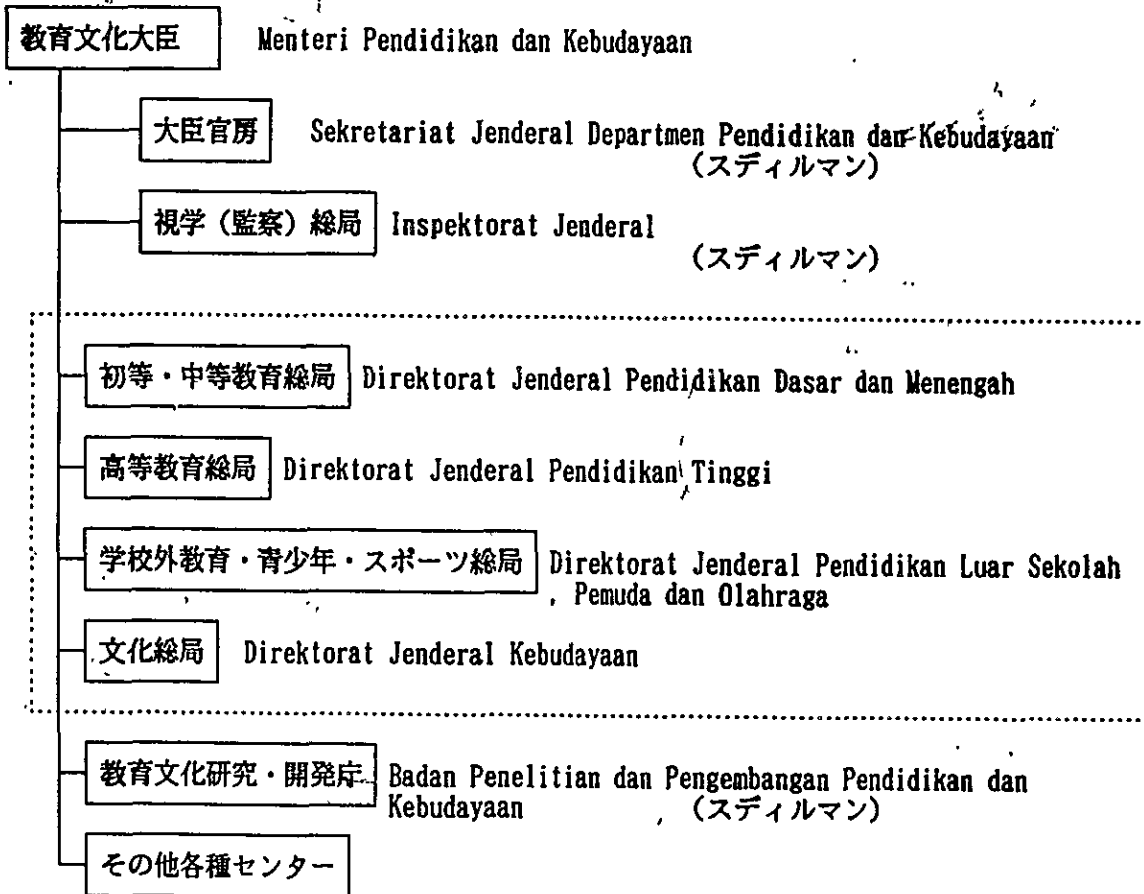
授業料の額は各学期に受講する単位数に基づいて決められる。例えば、10—12単位に対しては授業料は1学期あたり6万ルピア。但し、英語学習プログラムは年間18万ルピア、私費による小学校教員D2課程(D2 PGSD)は年に23万2500ルピアである。

教材の費用は各単位につき約4000ルピアである。教材は遠隔学習プログラム・センター(UPBJJ-UT)または学習リソース・センター(USB)、また郵便局を通して公開大学本部、あるいは指定された書店で買うことができる。教材は個人でもグループでも買うことができる。

集中的な個別指導、コンピュータ実習を希望する学生、あるいは公開大学で決められた試験場所以外での試験を希望する学生は別個に料金を支払なければならない。

資料： 教育文化省組織・名称

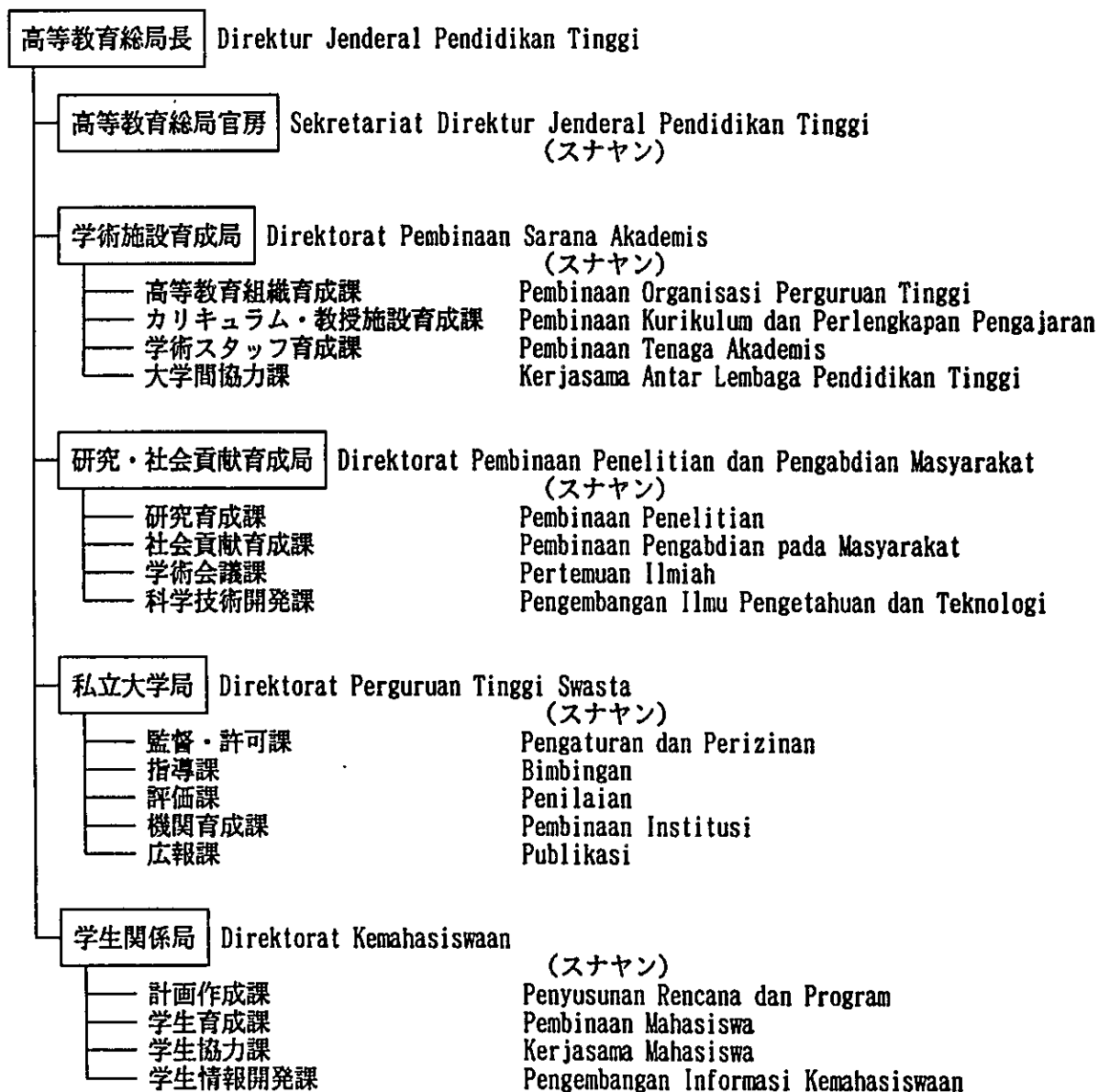
(1) 教育文化省 Departmen Pendidikan dan Kebudayaan
所在地: Jl. Jenderal Sudirman
以下スティルマンと表記



(2) 初等・中等教育総局 Direktorat Jenderal Pendidikan Dasar dan Menengah
所在地：Jl. R. S. Fatmawati, Cipete 以下, チプテと表記



(3) 高等教育総局 Direktorat Jenderal Pendidikan Tinggi
 所在地: Pintu I Senayan 以下スナヤンと表記



(4) 学校外教育・青少年・スポーツ総局

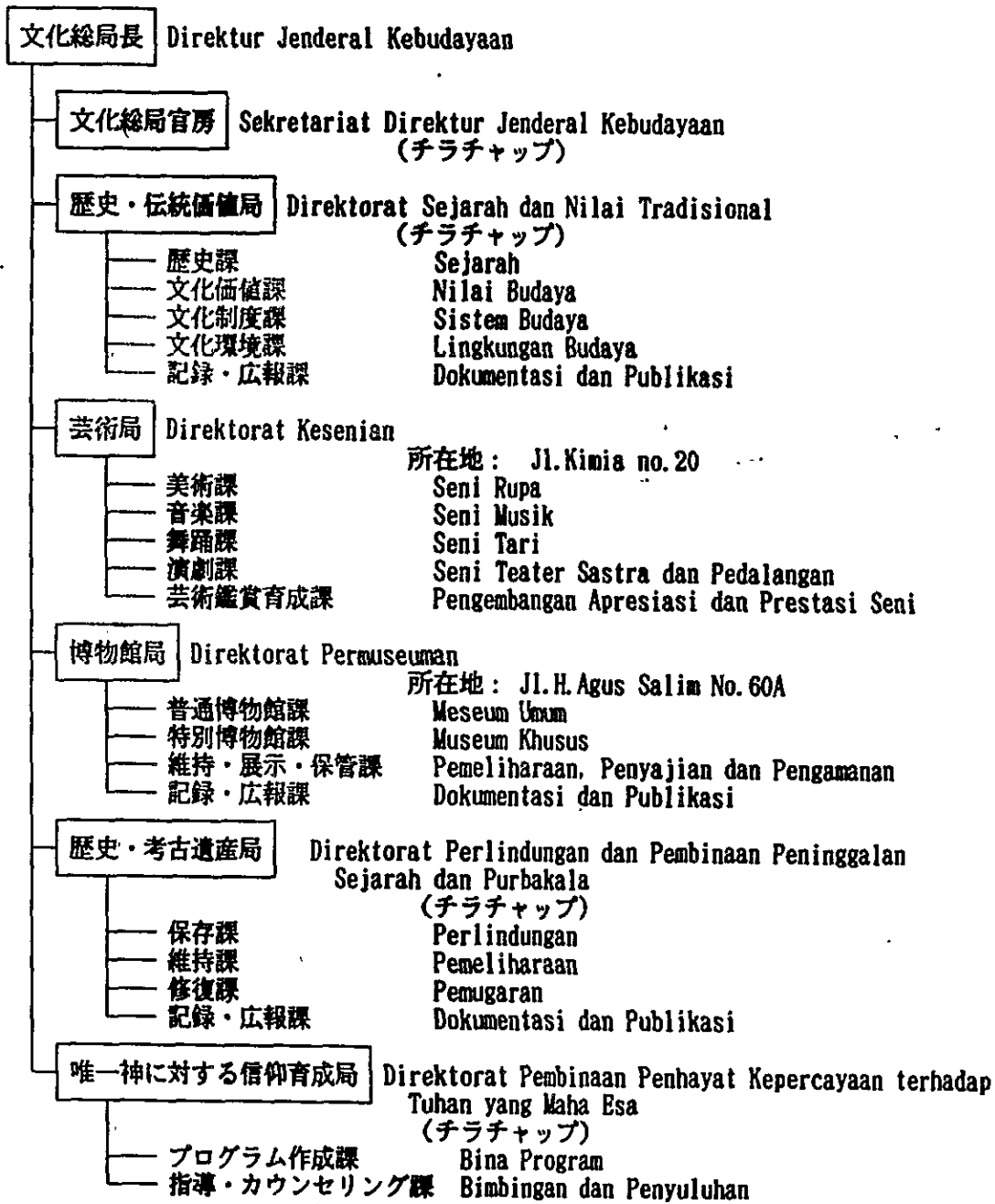
Direktorat Jenderal Pendidikan Luar Sekolah, Pemuda dan Olahraga

所在地: Jl. Proklamasi No. 17A

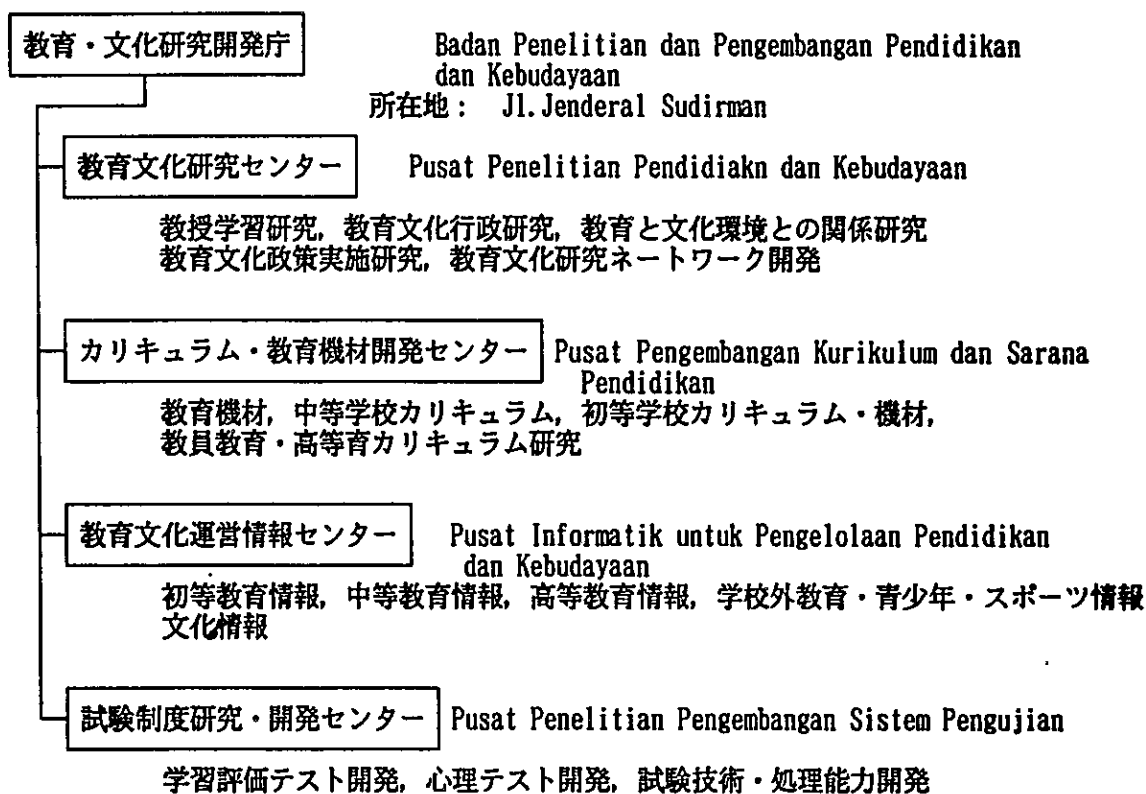
以下, プロクラマシと表記



(5) 文化総局 Direktorat Jenderal Kebudayaan
 所在地： Jl. Cilacap 4 以下、チラチャップと表記



(6) 教育文化研究開発庁および各種センター群



(その他の諸センター)

- 職員教育・訓練センター** Pusat Pendidikan dan Pelatihan Pegawai
- 健康・レクリエーションセンター** Pusat Kesegaraan Jasmani dan Rekreasi
- 言語育成・開発センター** Pusat Pembinaan dan Pengembangan Bahasa
(インドネシア語・地方語, 文学, 辞書編纂・語彙, 言語・文学発展)
- 国立考古学研究センター** Pusat Penelitian Arkeologi Nasional
- 教育文化コミュニケーション技術センター** PUSTEKKOM
Pusat Teknologi Komunikasi Pendidikan dan Kebudayaan
- インドネシア・グラフィック・センター** Pusat Grafika Indonesia
- 図書作成センター** Pusat Perbukuan

資料

国立高等教育機関一覧

(Direktori Perguruan Tinggi Negeri Di Indonesia 1993 より)

大学名	所在地(州)	学部編成	学生数・教官数等
シーア・クアラ大学 UNSYIAH	バンダアチェ (アチェ)	教育学部 法学部 経済学部 医学部 獣医学部 農学部 工学部 理数科調整(準備)	学生D 3164 S1 9848 教官 973 Universitas Syiah Kuala
スマトラ・ウトラ大学 USU	メダン (北スマトラ)	文学部 法学部 経済学部 社会・政治学部 医学部 歯学部 農学部 理学部 工学部	学生D 1772 S1 11530 教官 1634 Universitas Sumate ra Utara
メダン教育大学 IKIP	メダン (北スマトラ)	教育学部 言語・芸術教育学部 理科教育学部 社会科教育学部 工学・職業教育学部 体育・健康教育学部	学生D 1652 S1 7285 教官 996 IKIP Medan
アンダラス大学 UNAND	パダン (西スマトラ)	農学部 医学部 理学部 畜産学部 法学部 経済学部 文学部	学生D 1320 S1 9721 教官 1053 Universitas Andala s

		工学部 社会・政治学部	
パダン教育大学 IKIP	パダン (西スマトラ)	教育学部 言語・芸術教育学部 理科教育学部 社会科教育学部 工学・職業教育学部 体育・健康教育学部	学生D 1598 S1 4806 教官 871 IKIP Padang
パダン・パンジャン舞 踊音楽アカデミー ASKI	パダン・パン ジャン (西ス マトラ)	(伝統音楽, 舞踊, 音 楽)	学生D 429 教官 91 ASKI Padang Panjan g
リアウ大学 UNRI	ブカン・バル (リアウ)	教育学部 経済学部 社会・政治学部 水産学部 理学部	学生D 949 S1 7981 教官 714 Universitas Riau
ジャンビ大学 UNJA	ジャンビ (ジャンビ)	教育学部 法学部 経済学部 農学部 畜産学部	学生D 823 S1 4704 教官 510 Universitas Jambi
スリウィジャヤ大学 UNSRI	パレンバン (南スマトラ)	教育学部 法学部 経済学部 医学部 農学部 工学部	学生D 277 S1 7686 教官 1121 Universitas Sriwij aya
ベンクル大学 UNIB	ベンクル (ベンクル)	教育学部 法学部 経済学部 社会・政治学部 農学部	学生D 506 S1 2584 教官 498 Universitas Bengku lu

ランブン大学 UNILA	バンドル・ランブン (ランブン)	教育学部 法学部 経済学部 農学部 (理学部準備) 工学部	学生D 1284 S1 6525 教官 747 Universitas Lampung
インドネシア大学 UI	デボック(ジャカルタ)	文学部 法学部 経済学部 社会・政治学部 心理学部 医学部 公衆衛生学部 歯学部 理学部 工学部	学生D 2396 S1 14783 教官 2329 Universitas Indonesia
ジャカルタ教育大学 IKIP	ジャカルタ (ジャカルタ)	教育学部 言語・芸術教育学部 理科教育学部 社会科教育学部 工学・職業教育学部 体育・健康教育学部	学生D 2154 S1 8339 教官 840 IKIP Jakarta
公開大学(トゥルブカ大学) UT	チプタット (ジャカルタ)	教育学部 経済学部 社会・政治学部 理学部	学生D 141462 S1 34107 教官 791 Universitas Terbuka
ボゴール農科大学 IPB	ボゴール (西ジャワ)	共通準備段階 農学部 獣医学部 水産学部 畜産学部 林学部 農業工学部 理学部	学生D 1459 S1 9153 教官 1286 Institut Pertanian Bogor

バンドン工科大学 ITB	バンドン (西ジャワ)	芸術・デザイン学部 理学部 工業技術学部 資源工学部 土木・都市計画学部	学生D 0 SI 8294 教官 989 Institut Teknologi Bandung
パジャジャラン大学 UNPAD	バンドン (西ジャワ)	文学部 法学部 経済学部 社会・政治学部 コミュニケーション学 部 心理学部 医学部 歯学部 農学部 畜産学部 理学部	学生D ----- SI 11717 教官 1762 Universitas Padjad jaran
バンドン教育大学 IKIP	バンドン (西ジャワ)	教育学部 言語・芸術教育学部 理科教育学部 社会科教育学部 工学・職業教育学部 体育・健康教育学部	学生D 4195 SI 8094 教官 1032 IKIP Bandung
バンドン舞踊アカデミ ー ASTI	バンドン (西ジャワ)	(舞踊, 伝統音楽, 演 劇)	学生D 358 教官 118 ASTI Bandung
ジェンデラル・ステイ ルマン大学 UNSOED	ブルウォケル ト (中部ジャワ)	農学部 生物学部 畜産学部 経済学部 法学部 (学習プログラム)	学生D 1370 SI 6015 教官 401 Universitas Jender al Soedirman
ディボネゴロ大学 UNDIP	スマラン (中部ジャワ)	文学部 法学部	学生D 2526 SI 14213

)	経済学部 社会・政治学部 医学部 畜産学部 工学部	教官 1217 Universitas Diponegoro
スマラン教育大学 IKIP	スマラン (中部ジャワ)	教育学部 言語・芸術教育学部 理科教育学部 社会科教育学部 工学・職業教育学部 体育・健康教育学部	学生D 2160 S1 5732 教官 760 IKIP Semarang
スプラス・マレット大 学 UNS	スラカルタ (中部ジャワ)	文学部 教育学部 法学部 経済学部 社会・政治学部 医学部 農学部 工学部	学生D 1319 S1 16503 教官 1329 Universitas Sebelas Maret
スラカルタ芸術単科大 学 STSI	スラカルタ (中部ジャワ)	(伝統音楽, ダラン, 舞踊, 芸術)	学生D 252 S1 575 教官 199 STSI Surakarta
ガジャマダ大学 UGM	ジョグジャカルタ (ジョグジャカルタ)	文学部 哲学部 法学部 経済学部 社会・政治学部 心理学部 医学部 薬学部 歯学部 地理学部 獣医学部 農学部 林学部	学生D 2812 S1 23877 教官 1944 Universitas Gajah Mada

		畜産学部 農業工学部 理学部 生物学部 工学部	
ジョグジャカルタ教育 大学 IKIP	ジョグジャカ ルタ (ジョグジャ カルタ)	教育学部 言語・芸術教育学部 理科教育学部 社会科教育学部 工学・職業教育学部 体育・健康教育学部	学生D 864 S1 8880 教官 791 IKIP Yogyakarta
ジョグジャカルタ・イン ドネシア芸術専門大学 ISI	ジョグジャカ ルタ (ジョグ ジャカルタ)	音楽・舞踊学部 芸術・デザイン学部	学生D 20 S1 1705 教官 239 ISI Yogyakarta
アイルランガ大学 UNAIR	スラバヤ (東ジャワ)	法学部 経済学部 社会・政治学部 医学部 薬学部 歯学部 理学部 非学位衛生学部	学生D 2087 S1 9080 教官 1373 Universitas Airlan gga
スプルー・ノベンパー 工科大学 (スラバヤ工 科大学) ITS	スラバヤ (東ジャワ)	理学部 工業技術学部 土木学部 船舶工学部	学生D 1756 S1 7108 教官 681 Institut Teknologi Sepuluh Nopember Surabaya
スラバヤ教育大学 IKIP	スラバヤ (東ジャワ)	教育学部 言語・芸術教育学部 理科教育学部 社会科教育学部 工学・職業教育学部	学生D 1637 S1 8271 教官 746 IKIP Surabaya

		体育・健康教育学部	
ブラウイジャヤ大学 UNIBRAW	マラン (東ジャワ)	法学部 経済学部 行政学部 農学部 畜産学部 工学部 医学部 水産学部 理学部 ディプロマ・プログラム	学生D 1734 S1 10441 教官 1039 Universitas Brawijaya
マラン教育大学 IKIP	マラン (東ジャワ)	教育学部 言語・芸術教育学部 理科教育学部 社会科教育学部 工学・職業教育学部 体育・健康教育学部	学生D 1703 S1 6648 教官 884 IKIP Malang
ジェンベル大学 UNEJ	ジェンベル (東ジャワ)	文学部 教育学部 法学部 経済学部 社会・政治学部 農学部	学生D 1506 S1 8521 教官 638 Universitas Jember
タンジュンブラ大学 UNTAN	ポンティアナック (西カリマンタン)	教育学部 法学部 経済学部 社会・政治学部 農学部 工学部	学生D 745 S1 7214 教官 671 Universitas Tanjungpura
パランカラヤ大学 UNPAR	パランカラヤ (中部カリマンタン)	教育学部 経済学部 農学部	学生D 1681 S1 3460 教官 471 Universitas Palangkaraya

ランブン・マンクラット大学 UNLAM	バンジャルマシン (南カリマンタ)	教育学部 法学部 経済学部 社会・政治学部 農学部 林学部 水産学部 工学部	学生D 114 S1 7650 教官 626 Universitas Lambung Mangkurat
ムラワルマン大学 UNMUL	サマリダ (東カリマンタン)	教育学部 経済学部 社会・政治学部 農学部 林学部	学生D 1490 S1 3835 教官 474 Universitas Mulawarman
サム・ラトゥランギ大学 UNSRAT	マナド (北スラウェシ)	文学部 法学部 経済学部 社会・政治学部 医学部 農学部 畜産学部 水産学部 工学部	学生D 1613 S1 9375 教官 1375 Universitas Sam Ratulangi
マナド教育大学 IKIP	トンダノ (北スラウェシ)	教育学部 社会科教育学部 言語・芸術教育学部 理科教育学部 工学・職業教育学部 体育・健康教育学部	学生D 2504 S1 7990 教官 1864 IKIP Manado
ゴロンタロ教育単科大学 STKIP	ゴロンタロ (北スラウェシ)	教育学部 (言語・芸術, 社会科, 理科, 教育学)	学生D 326 S1 1117 教官 183 STKIP Gorontalo
ハサヌッディン大学	ウジュン・パ	文学部	学生D 2648

UNHAS	ンダン (南スラウェ シ)	法学部 経済学部 社会・政治学部 医学部 公衆衛生学部 歯学部 農学部 畜産学部 理学部 工学部 海洋学プログラム	S1 16165 教官 1562 Universitas Hasanu ddin
ウジュン・パンダン教 育大学 IKIP	ウジュン・パ ンダ (南スラウェ シ)	教育学部 言語・芸術教育学部 理科教育学部 社会科教育学部 工学・職業教育学部 体育・健康教育学部	学生D 1686 S1 5692 教官 911 IKIP Ujung Pandang
パティムラ大学 UNPATTI	アンボン (マルク)	教育学部 法学部 経済学部 社会・政治学部 農学部 水産学部 工学部	学生D 611 S1 9988 教官 685 Universitas Pattim ura
ウダヤナ大学 UNUD	デンバサール (ブキット・ ジンバラン) (バリ)	文学部 教育学部 法学部 経済学部 医学部 農学部 畜産学部 工学部	学生D 1867 S1 12016 教官 1616 Universitas Udayan a
シンガラジャ教育単科 大学 STKIP	シンガラジャ (バリ)	教育学部 (理数科, 社会科, 言 語・芸術, 教育)	学生D 1170 S1 1957 教官 316 STKIP Singaraja

デンバサール芸術単科 大学 STSI	デンバサール (バリ)	(舞踊, 伝統音楽, ダ ラン)	学生S1 438 教官 106 STSI Denpasar
マタラム大学 UNRAM	アンペナン (ロ ンボク) (西ヌサテン ガラ)	教育学部 法学部 経済学部 農学部 水産学部 土木工学部	学生D 479 S1 6105 教官 566 Universitas Mataram
ヌサチェンダナ大学 UNDANA	クバン (東ヌサテン ガラ)	教育学部 法学部 行政学部 農学部 畜産学部	学生D 824 S1 4058 教官 645 Universitas Cendana
ハルオレオ大学 UNHALU	クンダリ (東南スラウ ェシ)	教育学部 経済学部 社会政治学部 農学部	学生D 845 S1 5216 教官 412 Universitas Haluoleo
タドゥラコ大学 UNTAD	バル (中部スラウ ェシ)	教育学部 法学部 社会政治学部 経済学部 農学部	学生D 539 S1 6694 教官 533 Universitas Tadulako
チェンデラワシ大学 UNCEN	ジャヤブラ (イリアンジ ャヤ)	教育学部 法学部 社会政治学部 農学部	学生D 881 S1 3267 教官 413 Universitas Cenderawasih

資料

教育関係用語・略語一覧

APK	総就学率(Angka Partisipasi Kasar) 全就学者数を就学年齢人口総数で割った比率
APM	純就学率(Angka Partisipasi Murni) 就学年齢の就学者数を就学年齢人口総数で割った比率 就学年齢：SD=7～12才,STLP=13～15才,SLTA=16～18才
Akta	教員資格証(プログラム)
ASKI	インドネシア伝統芸能アカデミー(Akademi Seni Karawitan Indonesia)
ASTI	インドネシア舞踊アカデミー(Akademi Seni Tari Indonesia)
Balitbang	教育文化研究開発庁 (Badan Penelitian dan Pengembangan Pendidikan dan Kebudayaan)
BPG	教員研修センター(Balai Penataran Guru)
BLPT	工業高校共同実習センター(Balai Latihan Pendidikan Teknik)
Depdikbud	教育文化省(Departemen Pendidikan dan Kebudayaan)
Dikdasmen	初等中等教育総局 (Direktorat Jenderal Pendidikan Dasar dan Menengah)
Dikmenjur	職業中等教育局(Direktorat Pendidikan Menengah Kejuruan)
Dikmenum	普通中等教育局(Direktorat Pendidikan Menengah Umum)
Dikti	高等教育総局(Direktorat Jenderal Pendidikan Tinggi)
Dirjen	総局長(Direktur Jenderal)
Ditjen	総局(Direktorat Jenderal)
D-3	ディプロマ(非学位)3年課程
EBTANAS	全国最終評価テスト(Evaluasi Belajar Tahap Akhir Nasional)
FE	経済学部(Fakultas Ekonomi)
FH	法学部(Fakultas Hukum)
FISIP	社会・政治学部(Fakultas Ilmu Sosial dan Ilmu Politik)
FK	医学部(Fakultas Kedokteran)
FKH	獣医学部(Fakultas Kedokteran Hewan)
FKIP	教育学部(Fakultas Keguruan dan Ilmu Pendidikan)
FKM	公衆衛生学部(Fakultas Kesehatan Masyarakat)
FPMIPA	理数科教員養成学部(Fakultas Pendidikan MIPA)
FPOK	体育保健教員養成学部(Fakultas Pendidikan Olahraga dan Kesehatan)
FS	文学部(Fakultas Sastra)
FT	工学部(Fakultas Teknik)
GBHN	国家政策大綱(Garís-Garis Besar Haluan Negara)
IAIN	国立イスラム専門大学(Institut Agama Islam Negeri)

IKIP	教育大学(Institut Keguruan dan Ilmu Pendidikan)
INPRES	大統領指示令(Instruksi Presiden)
IPA	理科(Ilmu Pengetahuan Alam)
IPB	ボゴール農科大学(Institut Pertanian Bogor)
IPS	社会科(Ilmu Pengetahuan Sosial)
IPTEK	科学技術(Ilmu Pengetahuan dan Teknologi)
ISI	インドネシア芸術専門大学(Institut Seni Indonesia)
ITS	スラバヤ工科大学(Institut Teknologi Sepuluh Nopember Surabaya)
ITB	バンドン工科大学(Institut Teknologi Bandung)
Kanwil	各省の州事務局(Kantor Wilayah)
Kandep	各省の県事務局(Kantor Departmen Kabupaten)
KKG	教師研修グループ(Kelompok Kerja Guru)
KKN	学校外社会貢献授業(Kuliah Kerja Nyata) (大学生対象)
Kejar	学習集団 (社会教育プログラム) (Kelompok Belajar)
Kopertis	私立大学調整部(Koordinasi Perguruan Tinggi Swasta)
Kopertais	私立イスラム高等教育機関調整部 (Koordinasi Perguruan Tinggi Agama Islam Swasta)
LPTK	教員養成機関 (教育大学, 教育学部, 教育単科大学) (Lembaga Pendidikan Tenaga Kependidikan)
MA	イスラム高等学校(Madrasah Aliyah)
Magan	現場見習い訓練
MBA	ビジネス経営修士(Master of Business Administration)
MEN DIKBUD	教育文化大臣(Menteri Pendidikan dan Kebudayaan)
MI	イスラム小学校(Madrasah Ibtidaiyah)
MIPA	数学・理学(Matematika dan Ilmu Pengetahuan Alam)
MM	経営学修士(Magister Manajemen)
MTs	イスラム中学校(Madrasah Tsanawiyah)
NEM	全国最終評価テスト得点(Nilai EBTANAS Murni)
OPF	運営保守プログラム(Operasi dan Perawatan Fasilitas Pendidikan)
PAU	大学共同利用研究センター(Pusat Antara Universitas)
P&K	教育文化省(Departmen Pendidikan dan Kebudayaan)
PD	学部長補佐(Pembantu Dekan)
PEDC	ポリテクニク教育開発センター (Politeknik Education Development Center)
PGRI	インドネシア共和国教員連盟(Persatuan Guru Republik Indonesia)
PGSD	小学校教員養成プログラム(Pendidikan Guru Sekolah Dasar)
PJP-I	第1次国家開発長期25カ年計画 (Pembangunan Jangka Panjang Pertama)
PJP-II	第2次国家開発長期25カ年計画 (PEMBANGUNAN Jangka Panjang Kedua)

PKL	校外実習(Praktis Kerja Lapangan)
PLS	学校外教育(Pendidikan Luar Sekolah)
PMDK	興味適性調査(Penelusuran Minat dan Kemampuan) (大学の推薦入学制)
PMP	パンチャシラ道德教育(Pendidikan Moral Pancasila)
PPPG	教員研修開発センター(Pusat Pengembangan Penataran Guru)
PR	学長補佐(Pembantu Rektor)
PTA	宗教高等教育機関(Perguruan Tinggi Agama)
PTN	国立高等教育機関(Perguruan Tinggi Negeri)
PTS	私立高等教育機関(Perguruan Tinggi Swasta)
Purek	学長補佐(Pembantu Rektor)
PUSTEKKOM	教育文化コミュニケーション技術センター (Pusat Teknologi Komunikasi Pendidikan dan Kebudayaan)
REPELITA VI	第6次5カ年開発計画 (Rencana Pembangunan Lima Tahun Keenam)
RKB	新教室建設(Ruang Kelas Baru)
SD	小学校(Sekolah Dasar)
SD-MI	イスラム小学校を含む小学校 (SD Termasuk Madrasah Ibtidaiyah)
SDM	人的資源(Sumber Daya Manusia)
SK	通達, 省令(Surat Keputusan)
SKKP	家政中学校(Sekolah Kesejahteraan Keluarga Pertama)
SKS	学期単位制度(Sistem Kredit Semester)
SLB	特別学校(Sekolah Luar Biasa)
SLTA	高等学校(Sekolah Lanjutan Tingkat Atas)
SLTP	中学校(Sekolah Lanjutan Tingkat Pertama)
SLTP-MTs	イスラム中学校を含む中学校 (SLTP termasuk Madrasah Tsanawiyah)
SM	高等学校(Sekolah Menengah)
SMA	普通高校(Sekolah Menengah Atas)
SMEA	商業高校(Sekolah Menengah Ekonomi Atas)
SMIK	工芸高校(Sekolah Menengah Industri Kerajinan)
SMK	専門/職業高等学校(Sekolah Menengah Kejuruan)
SMIP	観光産業高校(Sekolah Menengah Industri Pariwisata)
SMKI	伝統芸能高校(Sekolah Menengah Karawitan Indonesia)
SMKK	家政高校(Sekolah Menengah Kesejahteraan Keluarga)
SMM	音楽高校(Sekolah Menengah Musik)
SMP	普通中学校(Sekolah Menengah Pertama)
SMPS	社会活動高校(Sekolah Menengah Pekerja Sosial)
SMSR	美術高校(Sekolah Menengah Seni Rupa)
SMTK	家政技術高校(Sekolah Menengah Teknologi Kerumahtanggaan)

SMU	普通高等学校(Sekolah Menengah Umum)
SPP	授業料(Sumbangan Pembinaan Pendidikan)
STKIP	教育単科大学(Sekolah Tinggi Keguruan dan Ilmu Pendidikan)
ST	技術中学校(Sekolah Teknik)
STM	工業高校(Sekolah Teknik Menengah)
STSI	インドネシア芸術単科大学(Sekolah Tinggi Seni Indonesia)
S-1	学士課程(Strata Satu)
S-2	修士課程(Strata Dua)
S-3	博士課程(Strata Tiga)
TK	幼稚園(Taman Kanak-Kanak)
TPA	保育所(Tempat Penitipan Anak)
UI	インドネシア大学(Universitas Indonesia)
UII	インドネシア・イスラム大学(私立)(Universitas Islam Indonesia)
UGB	新校舎建設(Program Unit Gedung Baru)
UGM	ガジャマダ大学(Universitas Gajah Mada)
UNAIR	アイルランガ大学(Universitas Airlangga)
UNAND	アングラス大学(Universitas Andalas)
Unas	ナショナル大学(私立)(Universitas Nasional)
UNCEN	チェンデラワシ大学(Universitas Cenderawasih)
UNDANA	ヌサチェンダナ大学(Universitas Nusacendana)
UNDIP	ディボネゴロ大学(Universitas Diponegoro)
UNEJ	ジュンベル大学(Universitas Jember)
UNHALU	ハルオレオ大学(Universitas Haluoleo)
UNHAS	ハサヌッディン大学(Universitas Hasanuddin)
UNIB	ベンクル大学(Universitas Bengkulu)
UNIBRAW	ブラウイジャヤ大学(Universitas Brawijaya)
Unika Atmajaya	アトマジャヤ・インドネシア・カトリック大学(私立) (Universitas Katholik Indonesia Atmajaya)
UNILA	ランブun大学(Universitas Lampung)
UNJA	ジャンビ大学(Universitas Jambi)
UNLAM	ランブun・マンクラット大学(Universitas Lambung Mangkurat)
UNMUL	ムラワルマン大学(Universitas Mulawarman)
UNPAD	パジャジャラン大学(Universitas Padjadjaran)
UNPAR	パランカラヤ大学(Universitas Palangkaraya)
UNPATTI	パティムラ大学(Universitas Pattimura)
UNRAM	マタラム大学(Universitas Mataram)
UNRI	リアウ大学(Universitas Riau)
UNS	スプラス・マレット大学(Universitas Sebelas Maret)
Unsada	ダルマ・ブルサダ大学(私立)(Universitas Dharma Persada)
UNSOED	ジェンデラル・スティルマン大学(Universitas Jenderal Soedirman)

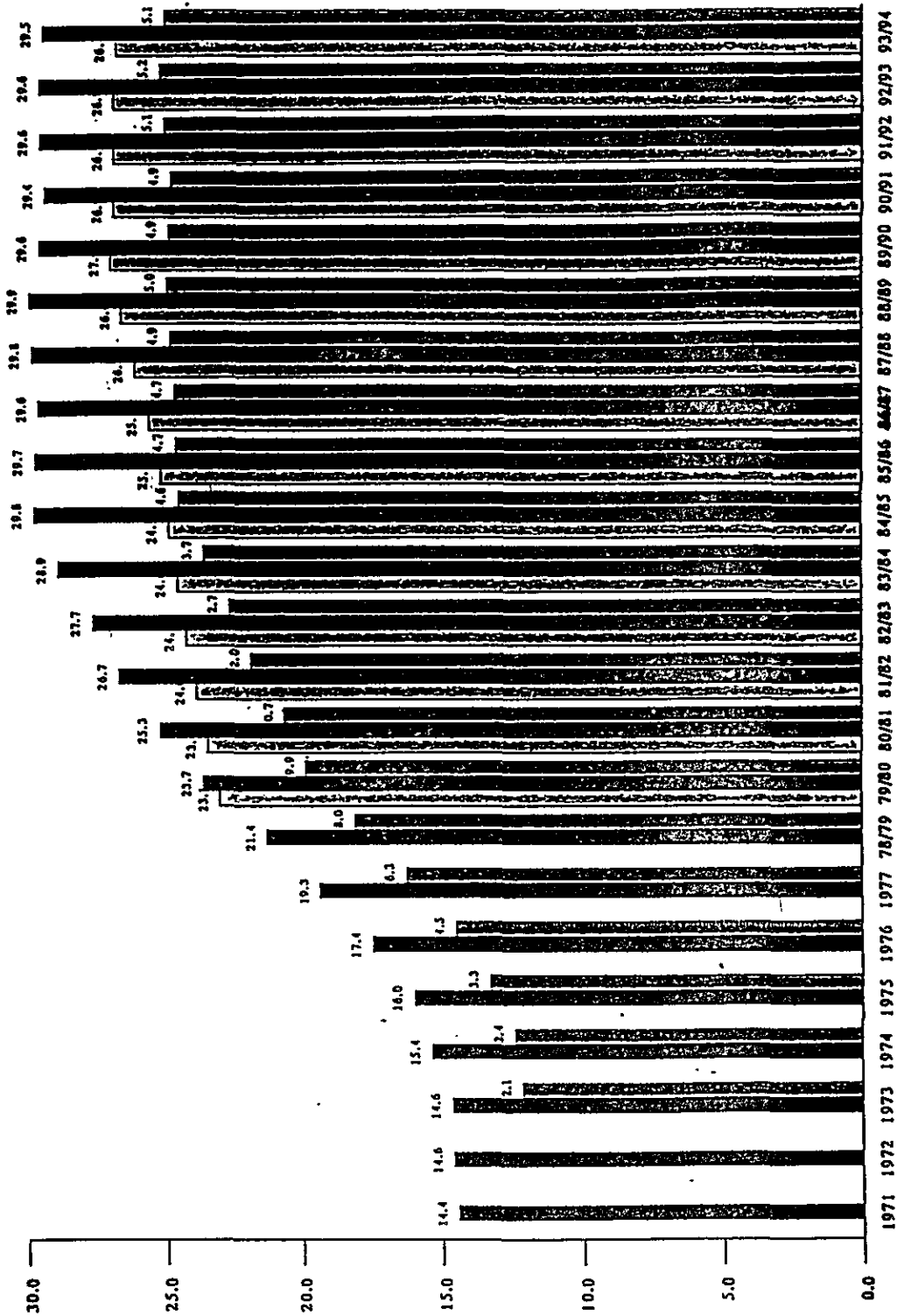
UNSRAT	サム・ラトゥランギ大学(Universitas Sam Ratulangi)
UNSRI	スリウィジャヤ大学(Universitas Sriwijaya)
UNSYIAH	シャークアラ大学(Universitas Syiah Kuala)
UNTAD	タドウラコ大学(Universitas Tadulako)
UNTAN	タンジュンブラ大学(Universitas Tanjungpura)
Untar	タルマネガラ大学(私立)(Universitas Tarumanegara)
UNUD	ウダヤナ大学(Universitas Udayana)
UPBJJ	遠隔学習プログラム・センター(Unit Program Belajar Jarak Jauh)
Usakti	トゥリサクティ大学(私立)(Universitas Trisakti)
USMI	ポゴール農大推薦入学制度(Undangan Seleksi Mahasiswa IPB)
USU	スマトラ・ウタラ大学(Universitas Sumatera Utara)
UT	公開大学(Universitas Terbuka)
UMPTN	国立大学統一入学試験(Ujian Masuk Perguruan Tinggi Negeri)
UUD	1945年インドネシア憲法(Undang-Undang Dasar 1945)
UUSPN	国民教育制度法 (Undang-Undang Sistem Pendidikan Nasional(UU No.2 1989))
UKS	学内保健衛生指導(Usaha Kesehatan Sekolah)
Wajar	義務教育(Wajib Belajar)

小学校生徒数と7～12歳年齢人口の変化

(イスラム小学校を含む)

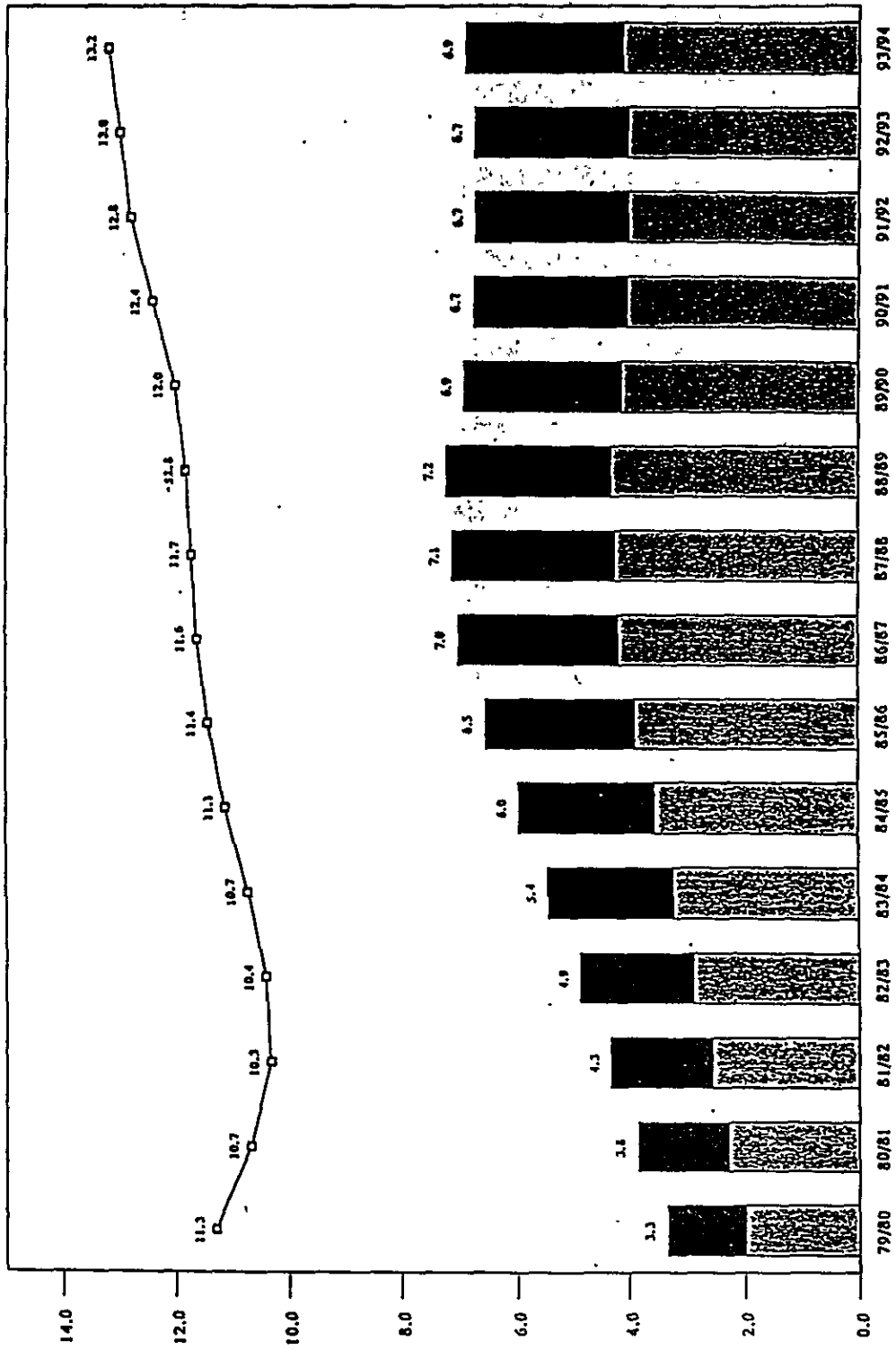
1971～1993/94年

(100万人)



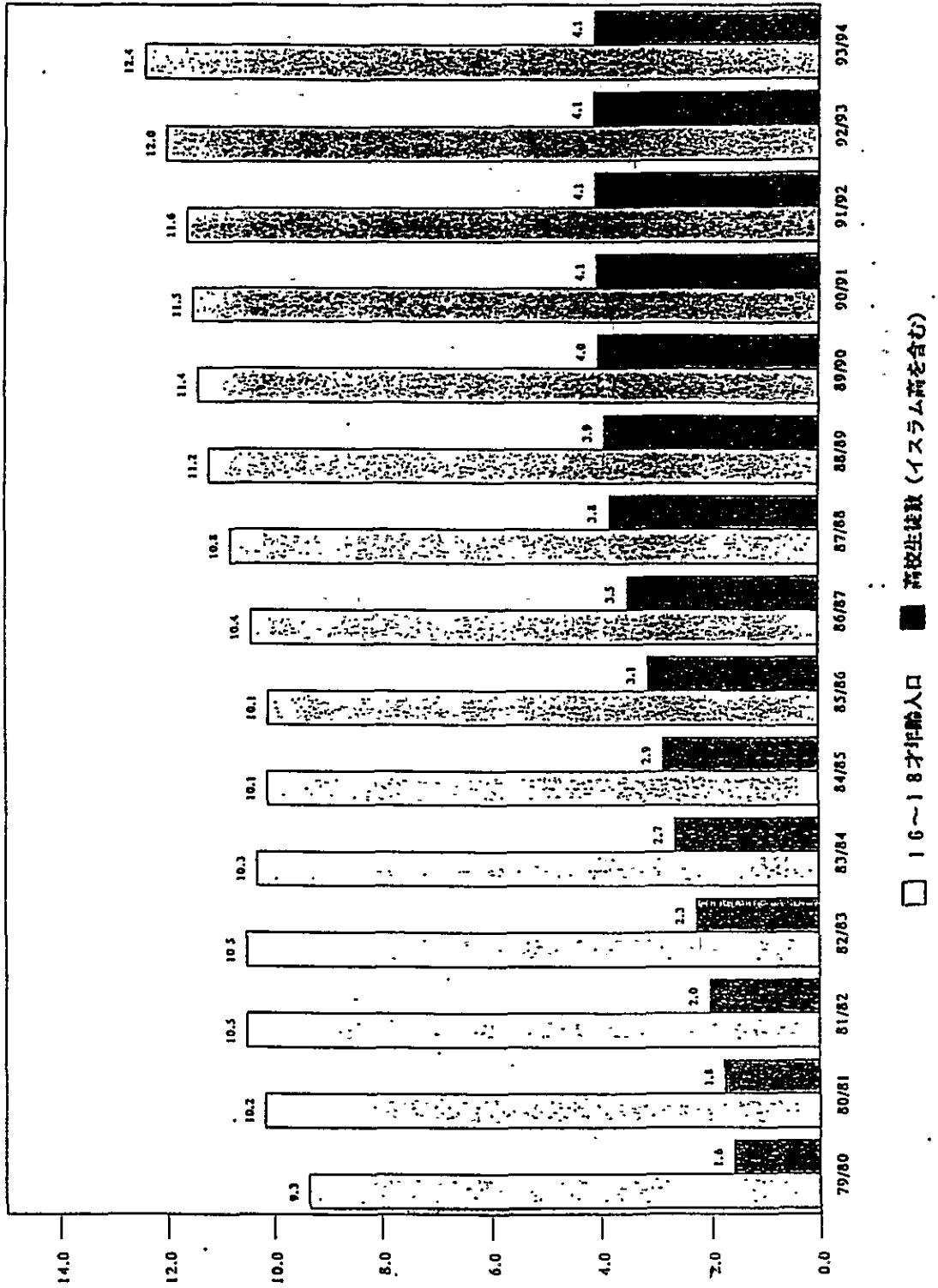
□ 7～12才年齢人口 : ■ 小学校生徒数 : ■ 7～12才の生徒数

中学校生徒数と13～15歳年齢人口の変化
 (イスラム中学校を含む)
 1979～80～1993/94年
 (100万人)

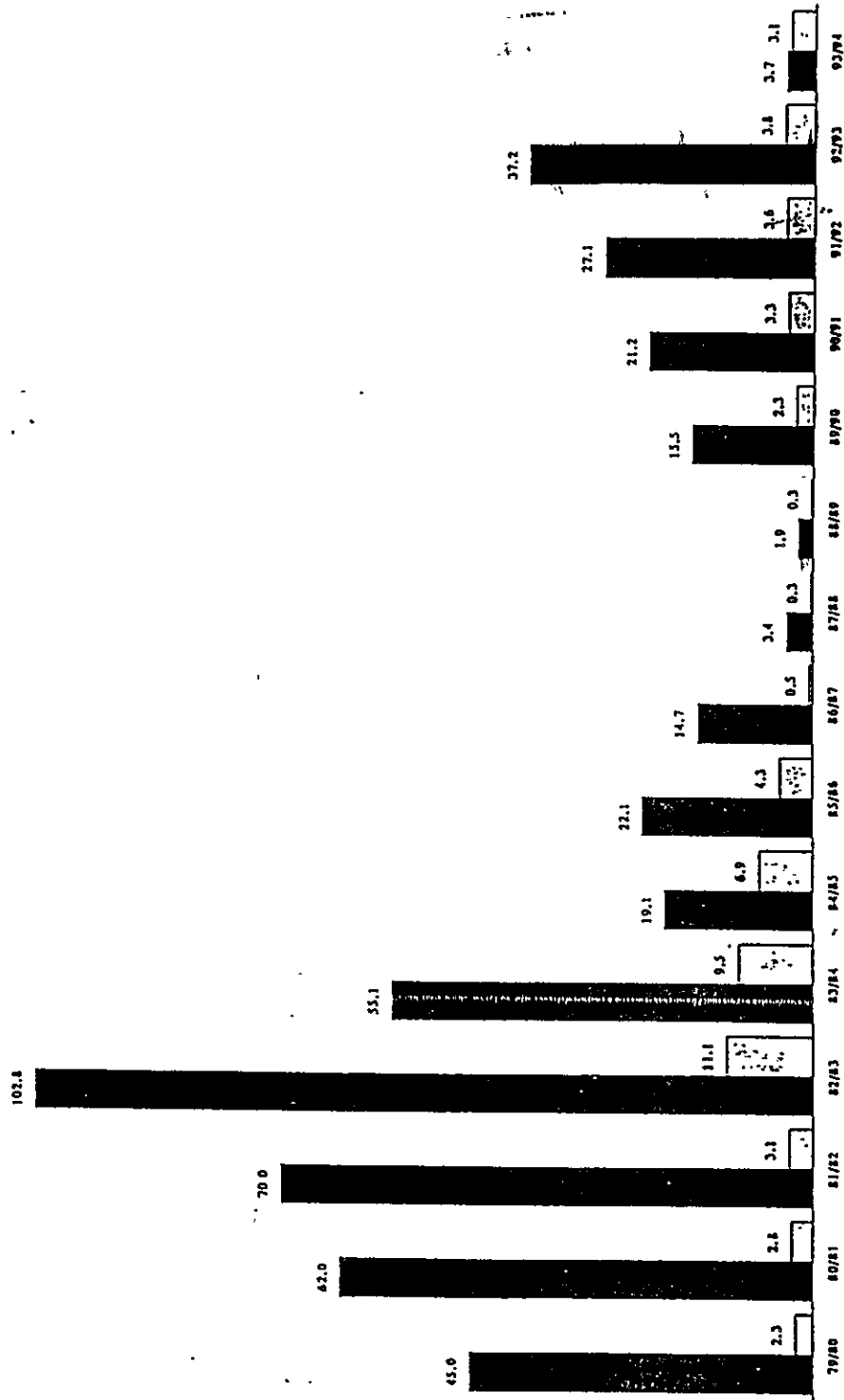


公立学校生徒数
 私立学校生徒数
 13～15歳年齢人口

高校生徒数と16～18歳年齢人口の変化
 1979/80～1993/94年 (イスラム高校を含む)
 (100万人)



小学校・中学校の校舎増設
1979/80～1993/94年 (1000教室)

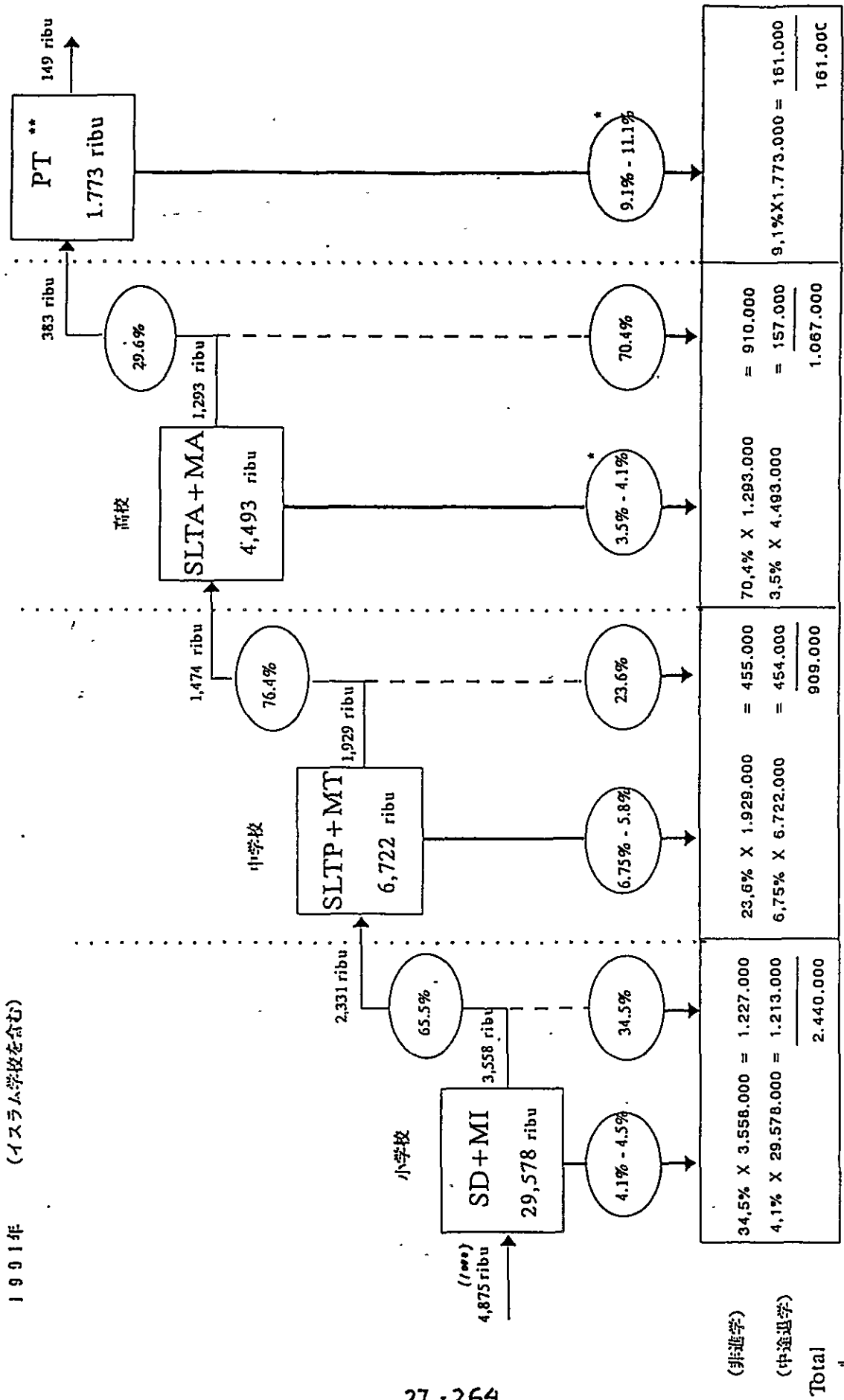


■小学校 □中学校

各学段段階における生徒のフロー

1991年 (イスラム学校を含む)

高等教育機関



Total = 2,440 ribu + 909 ribu + 1,067 ribu + 161 ribu = 4,577 ribu

Catatan : * (推定)

**イスラム専門学校およびその他の
公務学校は含まず

MI = Madrasah Ibtidaiyah, MT = Madrasah Tsanawiyah, MA = Madrasah Aliyah

Mrs Perencanan, Depdikbud
Jakarta 19 November 1993

進学率の達成目標

1993/94~2018/19年

